

令和2年度使用

# 小学校用教科用図書の 選定に必要な資料

松江採択地区教科用図書採択協議会

各発行者記号は以下のとおりである。

| 記号 | 発行者名    | 記号 | 発行者名     |
|----|---------|----|----------|
| A  | 東京書籍    | I  | 光村図書出版   |
| B  | 大日本図書   | J  | 帝国書院     |
| C  | 開隆堂出版   | K  | 新興出版社啓林館 |
| D  | 学校図書    | L  | 日本文教出版   |
| E  | 三省堂     | M  | 文教社      |
| F  | 教育出版    | N  | 光文書院     |
| G  | 信州教育出版社 | O  | 学研教育みらい  |
| H  | 教育芸術社   | P  | 廣済堂あかつき  |

## 選定に必要な資料の観点と規準

- (1) 記述された内容、程度が、児童の発達段階に適合しているか。また、分量が適切であるか。
- ・ 基礎的・基本的な内容の定着を図る工夫がなされているか。
  - ・ 児童の思考力、判断力、表現力を引き出す工夫がなされているか。
  - ・ 多様な児童の学習状況に対応する工夫がなされているか。                      など
- (2) 取り上げられた教材の選択や構成は、学習を効果的に進めるために適切なものになっているか。
- ・ 内容の系統性に配慮した単元の配列などの工夫がなされているか。
  - ・ 自ら調べ、まとめるなどの問題解決的な学習につながる工夫がなされているか。                      など
- (3) 児童が興味・関心をもって学習できるように工夫されているか。
- ・ 自ら課題を見つけ、学習を継続的、発展的に進めていくための工夫がなされているか。
  - ・ 意欲を喚起するために、写真や図表などの資料、レイアウトなどの工夫がなされているか。                      など
- (4) 各教科の特性が生かされ、島根県の実態や課題に適合しているか。
- ・ 松江や安来の地域の実態に合うような教材を生かし、様々な体験や活動を通して考える学習への工夫がなされているか。
  - ・ 今日的な課題を追求する学習につながる工夫がなされているか。                      など
- (5) 発展的に学習する手だてや家庭で自学自習できる工夫が盛り込まれているか。                      **【各科目】**  
各教科等における道徳教育との関連や実生活へ生かせる工夫が盛り込まれているか。                      **【特別の教科道徳】**
- (6) その他
- ・ 観点1～5にあてはまらない内容やその他特筆すべき事項。
- 総括
- ・ 観点1～5及びその他についての記述や感性を育む要素などを総合したその教科用図書の全体的な特徴。

| 記号        | 選定に必要な資料の観点  |   |   |  |   |   | 総括  |
|-----------|--|---|---|--|---|---|---|
|           | (1) 内容, 程度, 分量等  | (2) 教材の選択や構成等   | (3) 興味・関心への配慮等  | (4) 教科の特性, 島根県の<br>実態や課題への適合等  | (5) 発展的学習, 自学<br>自習についての工夫  | (6) その他   |   |
| A<br>東京書籍 | <p>・「はをつかおう」「をへをつかおう」では、助詞を入れる過程をスモールステップで示している。撥音, 長音, 拗音について, 視覚化と動作化により捉えやすくなるように工夫されている。(1年上)</p> <p>・5, 6年においては, 中学校への移行を考慮して, また, 自主的主体的に既習事項を確認しやすいため, 分冊ではなく1冊の教科書で対応している。</p> | <p>・単元の導入のページが新設され, 本単身に身をつける「言葉の力」を意識して, 単元を見通した主体的な学びができるよう工夫されている。</p> <p>・巻末の付録に単元と関連のある教材が配置され, 読み比べやテーマ読書につながる構成になっている。前の教科書の「言葉の力」も掲載し, 学びの系統性が大切にされている。</p> <p>・4月を学習の基盤作りの期間として重視し, 学習の基礎となる「対話」「情報の扱い方」「音読」「ノート作り」「図書館利用」についての単元が位置づけられている。(2年以上)</p> | <p>・「本は友達」では, 著名人による読書体験文, 多様な図書を紹介する「〇年生の本だな」「読書記録」で構成され, 読書への関心を高め, 読書習慣を養うことができるよう工夫されている。(全学年)</p> <p>・スタートカリキュラムに対応し, 幼児期の終わりまでに育てたい姿を踏まえて, 意欲や発達に丁寧に寄り添いながら言葉の学びにつなげる工夫がなされている点で優れている。(1年上)</p> | <p>・「インターネットの投稿を読み比べよう」では, 多角的に読み取る力を育てるため, 多様な投稿を読み取ることができる構成になっており, 優れている。(6年)</p> <p>・「資料を見て考えたことを話そう」では, 複数の情報や内容を関連付けて理解や思考を深めることができるように工夫されている。(5年)</p> <p>・3, 4年で繰り返しローマ字の学習が配置されている。(3年上下, 4年上下)3年以上の各巻末にローマ字表を掲載し, ローマ字が確実に習得できるように配慮されている。(3—6年巻末)</p> | <p>・社会科や総合的な学習と関連させ, 社会の課題や世界へ目を向けて, 自分の考えをもち発信することができるよう単元構成が工夫されている。(5, 6年)</p> <p>・説明文の単元末には, 学習した内容を他教科等で生かすことができるよう「生かそう」で示している。</p> <p>・「ことばあつめ」では, 巻末の「言葉の広場」を活用し, 言葉の特徴や使い方についての理解を深めながら語彙を広げられるよう工夫されている。(全学年)</p> | <p>・「町の幸福論—コミュニティデザインを考える」では, 隠岐郡海士町の取組が紹介されており, ふるさと教育の視点や郷土の親しみ, 誇りにつながる内容となっている。(6年)</p> <p>・「生活の中の言葉」では, 相手との対話の仕方を通して, コミュニケーション能力を高めることができるよう工夫されている。(2年以上)</p> | <p>・国語科で育む資質・能力を「言葉の力」として分かりやすく示し, 「つかむ」「取り組む」「振り返る」の3ステップと, 各領域の系統を踏まえた螺旋的・反復的な学習を通じて, 言葉の力が積み上がるよう工夫されている。</p> <p>・多様な分野から教材が選定されており, 社会や生活の中にある今日的な課題について考えを深めることができる。今求められている国語の力を付けるのに適した学習教材として優れている。</p> |
| D<br>学校図書 | <p>・5, 6年でも上下2分冊にすることにより, 文章量が増え, 内容が複雑・高度になる高学年において, ゆとりを持ったページ構成を実現している。</p> <p>・6年の上下巻の資料編では, 読み物資料が3つ掲載されており, 児童の興味や実態に合わせて学習できるよう工夫されている。(6年上, 6年下)</p>                           | <p>・4年以上の「対話して読む」読み物教材では, 「つぶやき」の例が欄外に示されており, 児童が文章と対話しながら読むための手がかかりとなるよう工夫されている。(4年下)</p> <p>・「A Iで言葉と向き合おう」では, 同じテーマで書かれた2つの文章を比べて読む活動が示されており, 物事を多面的に見たり考えたりできるように工夫されている。(6年上)</p>  | <p>・年度当初の小単元にある「言葉でつながる」は, ゲーム的な要素を取り入れながら楽しく対話力を高める内容になっている。(2年上, 3年上)</p> <p>・「物語の人物が答えます」では, 登場人物役が読者役の質問に叙述をもとに答えるゲームが示されており, 児童が興味をもって物語を読むように工夫されている。(5年上)</p>                                  | <p>・「主語と述語」や「しゅうしょく語」では, 学力調査での課題の見られた主語・述語・修飾語の関係を初めて学習する際に, 練習題を増やし, 確実な定着を図っている。(2年上, 3年上)</p> <p>・「ミラクルミルク」や「ネコのひげ」では, 要点を見つける手順や要約文を作る手順が示されており, 児童が方法を理解できるように工夫されている。(3年上)</p>  | <p>・「合図としるし」では, 説明文で学習したことを生かして, まとまりのある文章を書くことができるように工夫されている。(3年上)</p> <p>・「読書の部屋」では, 関連図書の紹介だけでなく記録の仕方も具体的に示され他教科でも活用できるように工夫されている。(5年上)</p>  | <p>・「昔の物語を楽しもう」という単元では, 「ヤマタノオロチ」が紹介され, 地域の文化に関心を高め, 愛着や誇りをもつことにつながる内容になっている。(2年上)</p>  | <p>・「話すこと聞くこと」の領域では, 複数ページで展開する活動の概要が単元の冒頭に一覧で提示され, 「学習の見通し」をもてるよう配慮されている。(6年上)</p> <p>・「読むこと」領域の単元「ゆず」や「服を着たゾウ」では, 児童の「つぶやき」の例が欄外に示されており, 児童が文章と対話しながら読む手がかかりとなるよう工夫されている。(5年下, 6年下)</p>                       |

| 記号          | 選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点  |  |   |  |  |   | 総 括   |
|-------------|--|--|---|--|--|---|---|
|             | (1) 内容, 程度, 分量等  | (2) 教材の選択や構成等  | (3) 興味・関心への配慮等  | (4) 教科の特性, 島根県の<br>実態や課題への適合等  | (5) 発展的学習, 自学<br>自習についての工夫   | (6) その他   |   |
| F<br>教育出版   | <p>・5, 6年でも上下2分冊になっており, 文章量が増え, 内容が複雑・高度になる高学年において, ゆとりを持ったページ構成になるよう工夫されている。</p> <p>・6年の上下巻の付録では, 読み物資料が3つ掲載されており, 児童の興味や実態に合わせて学習できるように工夫されている。(6年上, 6年下)</p>  | <p>・「『発見ノート』を作ろう」や「『情報ノート』を作ろう」「図表に表して考えよう」では, 多様なノートの取り方のこつや工夫が具体的に示され, 児童の意欲化を図っている(3年上, 5年上, 6年上)</p> <p>・「世界の人に伝わるように」では, タイムリーなオリンピック競技のピクトグラムを題材として取り上げている。(3年下)</p>                       | <p>・「本を読もう」では, 紹介されている本の書名, 著者名だけでなく, あらすじが記載されており, 読書意欲が喚起されるよう工夫されている。(5年下)</p> <p>・「まんがの方法」では, 児童が好きな「漫画」の面白さや秘密について書かれており, 意欲的に考えを深めるよう工夫されている。(5年下)</p>  | <p>・「世界遺産 白神山からの提言」では, 文章と図表, 写真など, 多様な資料を関係付けて意見文を書く力を育てるための学習過程が重視されている。(5年下)</p> <p>・「言葉と私たち」では, 3名の著名人が書いたメッセージを読み取り, そこから自分の考えをまとめ表現する活動が示されている。(6年下)</p> | <p>・2年上「町の『すてき』をつたえます」では, メモの書き方を具体的に示し, 生活科の学習に生かせるように工夫されている。(2年上)</p> <p>・「調べてわかったことを発表しよう」では, 探究的な学習過程が一つの単元の中で網羅されており他の問題解決的な学習にも応用できる構成になっている。(4年上)</p>                  | <p>・「ごじゅうおん」では, 色調のバランスだけでなく形の上でも区別しやすいよう配慮されており, 五十音表を縦や横に読む際の負担感をなくすよう工夫されている。(1年上)</p> | <p>・2年以上の巻頭には「○年生で学ぶこと」が設置され, これからどんなことを学ぶのか, どんな国語の力が身に付くのか, 一年間の学習が系統的に示されている。(5年上)</p> <p>・単元末の手引きに見開き1ページで, 上段に学習の流れが, 下段に児童の反応が示されており, 単元全体の流れを具体的に見通せるよう工夫されている。(6年上)</p> |
| I<br>光村図書出版 | <p>・学習の手引きが上下2段に分かれ, 学習過程と学習活動が見開きで一覧できることで, 何をどのように学ぶのか見通しがもてるように工夫されている。</p> <p>・5, 6年においては, 中学校への移行を考慮して, また, 自主的・主体的に既習事項を確認しやすくするため, 分冊でなく1冊の教科書で対応している。</p> <p>・「スーホの白い馬」(2年), 「ちいちゃんのかげおくり」(3年)など, 人物の心情や情景描写を豊かに読み取るのに適した内容の文学教材が多く扱われている。</p> | <p>・「情報の扱い方」に特化して, 単元と密接に関連させ, 言語活動の中で確実に力が付くよう, 4つの教材系列「考えるときに使おう」「関係をとらえよう」「集めるときに使おう」「調べるときに使おう」が配置されている。(2年以上)</p> <p>・説明文では, 見開き完結の短い練習教材で構成を学び, それを長い文章で活用して読むことができるように, 単元構成が工夫されている。</p> | <p>・「もののなまえ」(1年下)で, お店屋さんごっこをしながら語彙を増やしたり, カンジードラゴンというキャラクター(全学年)が登場して楽しく漢字を覚えたりするなど, ゲームや遊びを通して学びを深める内容が多く盛り込まれている。</p> <p>・「季節の言葉」では, 季節感を表現する言葉について写真や絵と関わらせながら, 興味や関心をもって語彙を豊かにする配慮がなされている。(2年以上)</p> | <p>・情報を分析・整理したり思考を深め表現したりするための手がかかりとして, 発達段階に応じた多様な思考ツールが示されている。(3年以上)</p> <p>・「メモ」「引用」「要約」などの技能を取り立てて扱い, 基本をおさえることで, 他教科や日常生活で適切に活用できるように配慮されている。</p>         | <p>・説明文では, 読むことと書くことを関連付けた複合単元を配列し, 身に付けた読みの力を活用できるように工夫されている点で優れている。(全学年)</p> <p>・単元末の, 「たいせつ」「いかそう」「ふりかえろう」という確認事項や, 巻末の「たいせつ」のまとめを, 他教科の学習や生活に生かすことができるよう工夫されている。(2年以上)</p> | <p>・地域に伝わる民話や神話として「いなばの白うさぎ」が紹介され, 地域の文化に関心を高め, 愛着や誇りをもつことにつながる内容になっている。(2年上)</p>         | <p>・学習する内容や活動の流れが, 具体的な反応例を挙げて示されており, 児童が見通しをもって学習に取り組むことができるよう配慮されている点で優れている。</p> <p>・身近で魅力的な話題や題材を取り上げ, 児童が自分のこととして考え, 主体的に学ぶことができるよう工夫されている。</p>                             |

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 書写 )

No.1

| 記号            | 選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点   |  |   |   |   |  | 総 括   |
|---------------|---|--|---|---|---|--|---|
|               | (1) 内容, 程度, 分量等   | (2) 教材の選択や構成等  | (3) 興味・関心への配慮等  | (4) 教科の特性, 島根県の<br>実態や課題への適合等   | (5) 発展的学習, 自学<br>自習についての工夫  | (6) その他  |   |
| A<br>東京<br>書籍 | <p>・運筆の特徴を捉え, 「とん」「ぴたっ」「すうっ」などの言葉を添えることで, 児童に始筆・送筆・終筆が捉えやすいよう工夫されている。(1年P8, 3年P12・13)</p> <p>・毛筆で学んだことを硬筆で生かす力をつけるために, 単元末の「生かそう」では, 硬筆で書く活動が設定されている。(3年以上)</p> | <p>・「見つけよう」, 「確かめよう」, 「生かそう」, 「振り返って話そう」の学習過程で統一され, 課題解決型の単元展開になるよう工夫されている。<br/>(3年以上)</p> <p>・目次で「集めて使おう, 書写のかぎ」と題して, 一年間の学習を旅に見立てて, 見通しをもって, 主体的に学ぶ工夫がなされている。(全学年)</p> | <p>・低学年の巻末に水書用紙がついており, 「はね」や「はらい」など筆圧で手指の動きを体感できるよう工夫されている。(1・2年)</p> <p>・書きはじめと書き終わりに★と●をつけることにより, 字形をとらせる手がかりとなるよう工夫されている。<br/>(1年p8)</p> | <p>・各学年の「文字のいづみ」で, 童謡や俳句などをなぞり書きする活動や書き初めの歴史を紹介するなど伝統文化を意識できるよう工夫されている。</p> <p>・平仮名やカタカナの学習では教材文字を含む言葉をイラストとともに提示し, 語彙指導の充実が図られている。<br/>(1年p13)</p>   | <p>・各学年の「生活に広げよう」において, 他教科と書写を合科的・関連的に扱うことにより, 書写で学んできたことの活用のイメージができるよう配慮されている。(全学年)</p> <p>・「こんな本もいっしょに」というコーナーを設け, 関連図書を紹介して, 読書指導の充実も図られている。<br/>(全学年)</p> | <p>・左利きの児童の学習のしやすさを考慮して, 書き込み欄を左右両方に配置したり左手で書く場合の用具の置き方の写真を載せたりしている。(2年P19, 3年P5)</p> <p>・B5ワイド版で「書写のかぎ」をインデックスにして, 既習内容が一目でわかるように工夫されている。(3年以上)</p> | <p>・文字を整えて書くための原理・原則を「書写のかぎ」として系統立てて各単元に配置し, 学習の流れが統一してあることにより, 課題解決的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>・平成27年版と比べて, イラストや図版に使われている色数や分量が配慮されて, すっきりした紙面構成が工夫されている。<br/>(1年p28・29)</p> |
| D<br>学校<br>図書 | <p>・「ふり返ろう」では, 名前や葉書の書字を通して, 学習した技能の活用ができているか確かめられるよう工夫されている。</p> <p>・「なぜ? なに? 書写の不思議」で書写学習への興味・関心を持ち主体的に取り組めるような様々なコラムが工夫されている。</p>                            | <p>・「確かめて書こう」「考えて書こう」「生かして書こう」の学習パターンで統一されており, 色分けしてあることで学習の流れが分かりやすくなるよう工夫されている。<br/>(全学年)</p> <p>・毛筆2文字以上の手本が見開き2ページに掲載してあり, 次ページにはポイントが細かく示されている。(6年p30~33)</p>       | <p>・低学年に, 「書き方のカギ」シールがついており, 学習意欲が高まるよう配慮されている。</p> <p>・キャラクター達の台詞の中にヒントや着眼点の例を示し, 児童が主体的に課題を発見して解決に向けて取り組めるよう工夫されている。(全学年)</p>             | <p>・視覚的にわかりやすい写真資料が多数とりあげられており, 伝統文化への興味・関心が高まるように工夫されている。(3年p11, 15)</p> <p>・整って読みやすい文字を書くための技能を効果的に考え, 練習することができるように書き込み欄が豊富に設けられている。<br/>(全学年)</p> | <p>・「書写の資料館」で, 都道府県名やポスター, 表やグラフなどの文字に関わる様々な資料を掲載し, 他教科や日常生活に生かせるよう工夫されている。<br/>(全学年)</p> <p>・学習したことを, 学校や普段の生活の中で生かす具体例があげられている。(全学年)</p>                    | <p>・初めて練習する漢字はページ下部に「新しい漢字」の掲載があり, 読みと筆順が確かめられるよう工夫されている。</p> <p>・穂先の動きや点画のつながりが理解しやすいように, かご書きがとりあげられている。<br/>(6年p21)</p>                           | <p>・はがきや一筆箋などの書き込みや, 全ての復習・まとめの単元を書いて確かめられるようにするなど, 書き込み欄を豊富に設ける工夫がされている。</p> <p>・開いてそのまま使えるように, 毛筆手本が半紙原寸大で掲載されている。(3年以上)</p>  |

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 書写 )

No2

| 記号                  | 選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点   |  |  |   |  |   | 総 括  |
|---------------------|---|--|--|---|--|---|--|
|                     | (1) 内容, 程度, 分量等   | (2) 教材の選択や構成等  | (3) 興味・関心への配慮等   | (4) 教科の特性, 島根県の<br>実態や課題への適合等   | (5) 発展的学習, 自学<br>自習についての工夫   | (6) その他   |  |
| F<br>教育出版           | <p>・低学年では, 指でなぞり書きできる文字を掲載することで, 基礎が定着するよう配慮されている。(1年・2年)</p> <p>・穂先の動きが朱墨と筆の動きで示されて, 子どもにもわかりやすい。(6年 p 3 6)</p>  | <p>・「学習の始めと終わりに書こう」という書き込み欄があり, 学習したことを生かして書けたか確かめることができるように工夫されている。(3年～6年)</p> <p>・右ページに毛筆手本をのせることにより, じっくりと文字を見てから, 左ページで学習の流れをつかめるように工夫されている。(3年～6年)</p>  | <p>・教科書の巻頭に文字への興味をひく教材を提示し, 意欲を喚起する工夫がされている。(2年 p ①, 4年 p ①)</p> <p>・親しみやすいキャラクターを用いて, 運筆の示し方を工夫している。(3年 p 1 2)</p>                                  | <p>・「知りたい文字の世界」では, 子どもの発達段階に応じてテーマを設定し, 文字に対する興味・関心を高めるよう工夫されている。(6年 p 1 8)</p> <p>・他教科との関連もふくめて, 相手意識をもって, 読みやすくわかりやすくまとめる例が掲載されている。(4年 p 4 8)</p> | <p>・「レッツトライ」では, 各教科や日常生活に密着した文例を掲載し, 書写の力を各教科で活用できるように書き方を紹介している。(4年 p 2 8, 2 9)</p> <p>・手紙やはがきなど日常生活で活用できる文例が発達段階に応じて掲載されている。(全学年)</p>                                    | <p>・学年間の学習内容が目次の欄に図やイラストでまとめられており, 学びの系統性がわかりやすい。(3年以上)</p> <p>・振り返りが三段階で自己評価できるように工夫されている。(全学年)</p>  | <p>・カリキュラムマネジメントに対応した, 他教科での活用のヒントが多数掲載されている。(全学年)</p> <p>・「ためし書き」「まとめ書き」や, 三段階の振り返りを全学年で取り組めるように工夫されている。</p>  |
| I<br>光村<br>図書<br>出版 | <p>・2年生以上の全教材に「たいせつ」というコーナーが設定されており, 学習のポイントとなる基礎・基本が明確に示されている点で優れている。</p> <p>・「考えよう」では, 実際の文字を比べて, 違いを見つけたり, 合わせてどちらがよいのかの理由を考えたりすることにより, 文字の書き方の原理・原則を楽しむながら学べるように工夫がされている。(2年以上)</p> | <p>・3年生以上で, 「考えよう」, 「たしかめよう」, 「生かそう」という展開が統一して構成されており, さらにコンパクトにまとめられており, 見通しをもって学習できるよう配慮されている。(5年 p 2・3)</p> <p>・巻頭の「こんなことはないかな」「できていないかな」で, 学習のポイントを具体的な場面をイメージしながらつかむことができるように工夫されている。(4～6年)</p> | <p>・毛筆の入門期である3年生に「たしかめようシール」がついており, 穂先の向きや点や画の書き方を意識して意欲的に学習が進むように工夫されている。(3年 p 1)</p> <p>・文字の書き方の原理原則が, キャラクターの動きでわかりやすく学べるように紙面に工夫がされている。(全学年)</p> | <p>・全学年に漢字の成り立ちを紹介する「漢字図鑑」が設けられており, 文字への興味・関心が高まるよう工夫されている。</p> <p>・「できたらなぞる」コーナーを設定することで, 一時間の終わりに短時間でめあてに沿った振り返りが, 自主的にできるような配慮がなされている。(1～5年)</p> | <p>・連絡帳やノートの読みやすい書き方を紹介し, 日常生活でも書写の学びが生かせるような活用の具体例が示されている。(2年 p 3 3, 3年 p 4 2)</p> <p>・6年生に, 「書写ブック」がついており, 書写の学習で身につけた力を, 各教科の学習場面や日常生活で生かせるよう工夫されている。(6年 p 1 9～2 6)</p> | <p>・二次元コードがタブレットで読み取れるようになっており, 「しょしゃ体操」や毛筆の筆使いや筆記具の持ち方などを, ページごとに動画で確かめることができるよう工夫されている。(1年 p 2・3, 3年 p 1 3・1 5他)</p> <p>・毛筆で学んだことを, 硬筆でまとめるページが設定されている。(3～6年)</p> | <p>・説明の文字や絵などが最小限に抑えられており, ねらいが明確で大切なことをつかみやすい紙面構成になるよう工夫されている。</p> <p>・書き方の原理・原則について, 楽しみながら学ぼうとする学習者が育つ工夫がなされている。</p> <p>・言語に対する感覚を養う学習の場となるように, 国語の教科書との連携を大切にしたい構成が工夫されている。(全学年)</p> |

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 書写 )

No. 3

| 記号                          | 選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点  |  |  |   |  |  | 総 括  |
|-----------------------------|--|--|--|---|--|--|--|
|                             | (1) 内容, 程度, 分量等  | (2) 教材の選択や構成等  | (3) 興味・関心への配慮等   | (4) 教科の特性, 島根県の<br>実態や課題への適合等   | (5) 発展的学習, 自学<br>自習についての工夫   | (6) その他  |  |
| L<br>日本<br>文<br>教<br>出<br>版 | <p>・1年生では, 活字をできるだけ少なくし, 「ゆびのうंदう」を掲載するなど, 入門期の配慮がなされている。<br/>(1年P1~7)</p> <p>・毛筆で書く際の筆圧が捉えやすいように, 筆圧が強かかるところは穂先のイラストも大きくするなどの工夫がされている。<br/>(3年 P18)</p> | <p>・考える(カエル)・確かめる(カメ)・いかす(イカ)のように生き物のイラストで示されており, 学習の流れが捉えやすい工夫がなされている。<br/>(1年 P10・11他)</p> <p>・自分で書いた文字を後から手本と比べることで, 普段書いている文字の課題に気づくことができるよう工夫されている。(6年P6・7)</p> | <p>・1・2年生では, 水書きシートがついており, 活用を推奨する教材にはそれを促すアイコンを表示したり, 台紙に添付され, 取り外して使えるようにしたりするなどの配慮がされている。(1・2年)</p> <p>・パンダのキャラクターの言葉にめあてを達成するためのヒントが隠されており, それを手がかりに主体的に学習を進められるよう工夫されている。</p> | <p>・豊かな言語感覚と語彙力の向上を目指した「言葉の窓」のコーナーが掲載されている。<br/>(全学年)</p> <p>・書写技能の定着を大切に, 硬毛の整合性に配慮して, 当該学年の配当漢字が硬筆と毛筆の両方で掲載されている。(3年以上)</p> | <p>・「国語の広場」では目的や相手を意識して書く教材を, また, 「生活と書写」では, 「伝え合い」を重視して絵日記や掲示物, 手紙の書き方を掲載し, 日常生活に生かせるよう工夫されている。</p> <p>・これまで学習してきたことをいかして, 「自分の力で」積極的に取り組めるページが設定されている。(6年 p 3 4)</p> | <p>・基本点画, 筆圧, 筆順, 配列, 点画のつながり, 接し方などの学習をふまえたまとめ書きのページが設定されている。(6年 p 3 2)</p> <p>・道徳教育や防災教育, 国際理解教育の視点から, 題材や教材が選ばれている。<br/>(全学年)</p> | <p>・親しみやすいすっきりとした紙面構成が工夫されている。</p> <p>・毛筆入門期での導入(2ページ見開きでの準備の仕方, 親しみやすい穂先キャラクターの採用など)に多くのページが使われ, 丁寧に扱われている。</p> |



選定に必要な資料

(種目名 社会)

No. 1

| 記号        | 選定に必要な資料の観点  |   |  |   |   |   | 総括  |
|-----------|--|---|--|---|---|---|---|
|           | (1) 内容, 程度, 分量等  | (2) 教材の選択や構成等   | (3) 興味・関心への配慮等   | (4) 教科の特性, 島根県の<br>実態や課題への適合等   | (5) 発展的学習, 自学<br>自習についての工夫  | (6) その他   |   |
| A<br>東京書籍 | <p>・「つかむ, 調べる, まとめる, (いかす)」という学習の流れが, 学年の最初に実際の授業の流れに即して提示してあり, 児童が学習の進め方を把握したうえで, 見通しをもって主体的に取り組めるよう配慮されている。(5年上p. 24-25)</p> <p>・冒頭に前学年で学習したこと, 今年で学習することが示され, 児童が学習の見通しをもちやすく, 学習内容を把握しやすいように配慮されている。(6年政治・国際編p. 2-5)</p> | <p>・「つかむ」段階で提示された学習問題を「まとめる」段階でも再掲し, 一貫した学習の展開が可能となっている。(3年p. 96, p. 106)</p> <p>・5年の「情報を生かすわたしたち」では「インターネットの利用で起こる問題の例」「情報活用宣言」を示し, 情報活用能力の育成に配慮が見られる。(5年下p. 93, p. 97)</p> <p>・各学習の段階が見開きでわかりやすく配置されており, 児童の主体的な学びに配慮されている。</p> | <p>・「Dマーク」が示された個所では, ウェブサイト上にデジタルコンテンツでクイズや動画が用意されており, 学習への興味関心を高め, 家庭学習にも活用できるように工夫されている。(4年p. 76, 6年歴史編p. 38)</p> <p>・4年の「日本地図を広げて」では, 47都道府県のクイズがあり, 都道府県や日本地図に対する興味・関心が高められ, 楽しく学べるよう工夫されている。(4年p. 10)</p> | <p>・「残したいもの伝えたいもの」では, 松江城の取り壊しの危機を救った人々や松江市の地域の文化財を活用した町作りについて取り上げられている。(4年p. 136)</p> <p>・北方領土, 竹島, 尖閣諸島の学習では, 写真だけでなく地図も示し, 位置が把握しやすくなっている。6年の「日本とつながりの深い国々」では韓国を取り上げており, 竹島問題に関わる学習を扱うことが可能となっている。(5年上p. 14, 6年政治・国際編p. 82-87)</p> | <p>・各学年で身につけた学び方を「まなび方コーナー」で具体的に示し, 系統的に学習技能を身につけられるよう工夫されている。(3年p. 137, 5年p. 94)</p> <p>・6年の末尾の「中学校に向けて」では, 中学校でも社会科を学ぶ意欲や期待感を抱かせるように工夫されている。(6年政治・国際編p. 114-115)</p> <p>・「ひろげる」のコーナーでは, 柔軟に取り扱うことができる内容を提示し, 発展的な学習が行えるよう配慮されている。</p> | <p>・6年は政治・国際編と歴史編の2分冊となっている。政治先習に対応しつつ, 修学旅行における学習をトピック的に取り扱うことが可能となっている。</p> <p>・「教科関連マーク」他の教科との関連が明示されており, 教科横断的な視点から学習に取り組むことができるよう配慮されている。(4年p. 76, 5年上p. 76)</p> | <p>・見方や考え方を働かせる場面を, ドラえもんアイコンで示し, 「社会的な見方・考え方」を働かせながら問題解決的な学習が進められるように構成されているという点において優れている。(3年p. 131)</p> <p>・「まとめる」場面では多様な表現活動を示し, 習得した知識の定着と調べたことを基に考え, 表現することができるように工夫されている。(4年p. 110)</p> <p>・「選択・判断」が示されている単元を中心に「いかす」場面で社会参画を意識した活動を例示している。</p> |

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 社会 )

No.2

| 記号        | 選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点   |  |   |   |  |  | 総 括   |
|-----------|---|--|---|---|--|--|---|
|           | (1) 内容, 程度, 分量等   | (2) 教材の選択や構成等  | (3) 興味・関心への配慮等  | (4) 教科の特性, 島根県の実態や課題への適合等   | (5) 発展的学習, 自学自習についての工夫   | (6) その他  |   |
| F<br>教育出版 | <p>・「社会科の学習の進め方」が学年の最初に示されており, 児童が学習の進め方を把握したうえで, 見通しを持って主体的に取り組めるように配慮されている。<br/>(5年p. 4-5)</p> <p>・冒頭で生活科や前学年の学びを, 「内容」「技能」「学び方」で整理し, 今学年の学習の意欲付けとなるよう配慮されている。<br/>(3年p. 1, 5年p. 2)</p> | <p>・「まとめる」段階では「みんなでつくった学習課題」が確認できるようになっており, 学びの足跡を振り返ることができるよう配慮されている。<br/>(6年p. 104)</p> <p>・歴史年表が3つ折りで収められており, 古代から現代までを見通すことができる作りとなっている。また, 写真や想像図を大きく配置するなど, 資料から読み取る力を育てられるよう配慮されている。<br/>(6年p. 70-71)</p> | <p>・「まなびリンク」が示された個所では, 学習に役立つ動画や資料をデジタルコンテンツでウェブサイト上に用意されており, 主体的な学習に生かすことができるよう工夫されている。<br/>(6年p. 143, 5年p. 146)</p> <p>・6年はパラリンピックを導入に福祉を切り口とした政治単元をスタートとし, 参政権の拡大を導入とした歴史単元, 再びオリンピック・パラリンピックを導入に国際単元へとストーリー性のある展開が図られている。</p> | <p>・竹島と尖閣諸島の特設のページがあり, 関心を広げる工夫がしてある。<br/>(5年上p. 16)</p> <p>・全学年で人口減少に関わる教材が取り上げられており, 島根県の大きな課題である少子高齢化問題について主体的に考えることができるよう配慮されている。<br/>(3年p. 157, 4年p. 73, 5年p. 137, 6年p. 142)</p> | <p>・「学びのてびき」では, 社会科の学習に必要な学び方が細かく示され, 児童が主体的に学習しやすくなっている。<br/>(3年p. 93)</p> <p>・1年の学びをふり返り, 自学年の学びを意識づけるページがある。<br/>(3年p. 158-159, 4年p. 212-213, 5年p. 242-251)</p> | <p>・3年の巻末では, 社会科の学習の進め方(ガイド)があり, 調べるための方法が具体的に示されている。<br/>(3年p. 160-171)</p> <p>・まとめるページがワークシートの形で提示してありまとめる活動を行うことにより単元を概観しやすくなる工夫がなされている。<br/>(5年p. 214-215)</p> | <p>・「社会的な見方・考え方」の視点や方法を「見比べて」「関連づけて」といった言葉で例示し, 児童が考えるポイントを意識して学んでいけるようになっている。<br/>(5年p. 206-207)</p> <p>・「みんなでつくった学習課題」を中心に, その解決に向けた各時間の「この時間の問い」を設け, 単位時間の末尾に「次につなげよう」が配置されており, 主体的な学びを促す構成となっている。<br/>(6年p. 134-135)</p> <p>・新しい教科書体で読みやすさに配慮されている。</p> |

| 記号                          | 選定に必要な資料の観点  |   |  |  |  |   | 総括   |
|-----------------------------|--|---|--|--|--|---|--|
|                             | (1) 内容, 程度, 分量等  | (2) 教材の選択や構成等   | (3) 興味・関心への配慮等   | (4) 教科の特性, 島根県の実態や課題への適合等  | (5) 発展的学習, 自学自習についての工夫   | (6) その他   |  |
| L<br>日本<br>文<br>教<br>出<br>版 | <p>・「見方・考え方コーナー」を設け, 「社会的な見方・考え方」を働かせて問題解決的な学習に取り組むことができるよう配慮されている。(4年p. 54)</p> <p>・巻頭に示す「この教科書の使い方」では, 教科書記述の基本的な構成を示すことで, 児童が学習の流れを概観でき, 主体的に問題解決的な学習を進めていけるように配慮されている。</p> | <p>・本文を, 学習活動→キャラクターの会話(気づき, 疑問) →学習内容という構成で提示し, 問題解決的な学び方を意識しやすくしている。(5年p. 137)</p> <p>・「うつりかわる市とくらし」では, 時代ごとの交通の変化や出来事に関連づけ, これからの市の発展について考えられるよう工夫されている。(3年p. 126-153)</p> | <p>・3年の巻頭には, 「社会科の学習へようこそ」など, 社会科の授業に対する期待感を高められるようなページを増やし, 授業開きにも使いやすいよう工夫されている。</p> <p>・学年の冒頭に「〇年生の社会科の学習でたいせつなこと」が示されており, 児童の学習への意欲や向かう姿勢を喚起させている。</p> <p>・「デジタルマーク」が示された個所では, 学習に役立つ動画や資料をデジタルコンテンツでウェブサイト上に用意されている。(3年p. 19)</p> | <p>・歴史学習の終盤に現代に続く問題として領土をめぐる問題についての特設ページが設けられている。(6年p. 225)</p> <p>・出雲国風土記, 隠岐国から都に送られた税の荷札が掲載されており, 郷土の歴史や文化に関心を向けられるよう配慮されている。(6年p. 68, p. 80)</p> | <p>・「学び方・調べ方コーナー」で地図やグラフの読み取り方などが示されており, 自学などでも生かされることが期待できる。(3年p. 143)</p> <p>・「わたしたちの学びを生かそう」において児童が自主的に調べたいと思った内容を扱っており, 発展的学習が期待できる。(5年p. 279)</p> <p>・6年の最終盤に中学校への接続を意識させるページを提示している。(6年p. 270)</p> | <p>・調べたことをまとめたり, 振り返ったりする場面ではノート整理の仕方を例示することで, 児童が自身のノートを活用して深い学びが実現できるよう配慮されている。(3年p. 121)</p> | <p>・児童が話し合っている場面がイラストで多数紹介されており, 対話的な学習を行う意識付けができる。(3年p. 39)</p> <p>・「選択・判断」が示されている単元では, 「さらに考えたい問題」を示し, 社会参画を意識した活動を提示している。(5年p. 259)</p> |

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 地図 )

No.1

| 記号        | 選定に必要な資料の観点  |  |  |  |  |  | 総括  |
|-----------|--|--|--|--|--|--|---|
|           | (1)内容, 程度, 分量等   | (2)教材の選択や構成等   | (3)興味・関心への配慮等  | (4)教科の特性, 島根県の実態や課題への適合  | (5)発展的学習, 自学自習についての工夫  | (6)その他   |   |
| A<br>東京書籍 | <p>・A4判, 全 102 ページの構成で, 情報量が豊富な地図となっている。</p> <p>・「地図学習」の導入ではまちの鳥瞰図が示され, 生活科と社会科の接続を意識した構成になっている。(p.7-10)</p>                                 | <p>・日本列島全体をとらえられる地図(南西諸島は別掲)を掲載し, 日本全体の形や様子とともに交通の広がりの様子にとらえられるようになっている。</p> <p>(p.20-22)</p> <p>・日本については, 地方別に見る地図(100 万分の1 など)では標高, 都市の様子を見る地図(50 万分の1 以上)では土地利用が示されており, 地形を正しくとらえられるとともに産業の記号を合わせて見ることで, 産業と地形の関係がとらえられるよう工夫されている。</p> <p>(p.31-34)</p> | <p>・世界のページでは, 様々な国の自然や文化に関心もてるよう世界に生息する動物や食べられている料理を取り上げ紹介している。</p> <p>(p.64)</p> <p>・「くらべてみよう日本と世界」では, それらの規模の違いに注目できるよう, 日本と世界の山, 川(含江の川), 湖(含中海, 宍道湖), 建物などをビジュアル的に紹介している。</p> <p>(p.81-82)</p> | <p>・「中国地方」のページで竹島の写真, 解説, 詳細図を掲載されている。解説には, 「韓国に占拠され, 日本は抗議を行っています。」と明記されている。(p.27)また, 「日本の歴史 世界とのかかわり」には, 1905 年に島根県に竹島が編入されたことについても明記されている。(p.78)</p> <p>・「日本の自然災害」のページで島根県沖を震源とする地震(石見浜田地震?1872 年)が示されており, 島根県においても大地震に備える必要性を気づかせることができる。(p.97-99)</p> | <p>・4人の子ども, はかせ, 妖精などのキャラクターを用意し, 全ページに登場させることで, 発展的学習, 自学自習につながる工夫をしている。</p> <p>(p.20-22)</p> <p>・Dマークを設け, 学習を補完するデジタルコンテンツにアクセスできるようになっていたり, 発展的に調べ学習を行う時に使える web サイトが紹介されたりしている。</p> <p>(p.5, p.96)</p> | <p>・「日本の歴史 世界とのかかわり」では, 学習指導要領解説に示された「当時の世界の動きが大まかに分かる地図」が年表とともに掲載されている。(p.75-78)</p> <p>・統計の表枠を広くとり, 統計結果が見やすくなるよう工夫されている。(p.83-86)</p> <p>・索引にチェック欄があり, 調べた履歴が残せるようになっている。(p.87-96)</p> <p>・各地図の縮尺が物差しに模してあり, 地図上の1 cm に対する実際の距離が把握しやすい。</p> | <p>・社会科はもちろん他教科でも活用できる豊富な情報が各ページに記載され, 全体的に文字やイラスト, 色使いが見やすく, 児童の興味・関心を高めながら発展的な学習を行えるよう工夫されている。</p> <p>・島根県に関わる情報が豊富なうえ, ページレイアウトが工夫されており, 例えば松江, 安来の両市ともページをまたがらず配置されているため, 3年生でも見やすく使いやすい地図となっている。</p> |
| J<br>帝国書院 | <p>・A4判, 全 120 ページの構成で, 掲載する情報を絞った見やすい地図となっている。</p> <p>・6ページで構成される「地図のやくそく」, 4ページで構成される「地図帳の使い方」では, 基本的事項を丁寧に解説し, 学習できる構成になっている。(p.9-18)</p> | <p>・「広く見わたす地図」として日本全体を5つに分け, 各地方の大まかな様子がとらえられるようになっている。</p> <p>(p.19-28)</p> <p>・日本については, 地方別地図で標高と土地利用が合わせて示されており, 産業の広がりや分布の様子にとらえられるよう工夫されている。</p> <p>(p.43-46)</p> <p>・世界地図では, 国がよく分かるように行政区も示されている。</p> <p>(p.81-82)</p>                              | <p>・世界のページでは, 様々な国に関心もてるよう見開き2ページにつき2~3カ国を取り上げ, その国の様子がわかる写真を掲載し, 紹介している。(p.75-76)</p> <p>・大縮尺の地図を多めに掲載し, 1つの地域について様子を詳しく調べられるよう工夫している。(p.47-48)</p>   | <p>・「日本の領土とそのまわり」のページで, 「日本固有の領土」として北方領土や尖閣諸島と並べて竹島の写真と解説を掲載している。(p.30)</p> <p>・「日本の自然災害と防災」では, 過去の自然災害を調べるだけでなく, 各地の防災対策や防災マップの作り方を学ぶことを通して地図の有効活用の一例を知るとともに防災意識が高まるよう構成されている。</p> <p>(p.91-94)</p>   | <p>・「地図のやくそく」のページでの「トライ!」や全80問用意されている「地図マスターへの道」を設け, 問題を解きながら地図活用力がつくよう工夫されている。</p> <p>(p.38)</p> <p>・2次元コードを多くのページに設け, さまざまな資料を見ることができるようになっている。(p.35)</p>  | <p>・国語や音楽でも活用できるよう文学作品, 外来語, 音楽の舞台となったところなどの情報が掲載されている。(p.81-82)</p> <p>・統計のページでは, 主な農産物や工業製品, 農産物について地図や帯グラフで示されており, 視覚的にとらえやすくなっている。(p.95-96)</p> <p>・索引では, 都道府県名だけでなく県庁所在地, 史跡なども色分けされており, わかりやすい。</p>                                      | <p>・社会科に限らず様々な教科での活用を想定した多岐にわたる情報が各ページに記載されているものの, 情報量を絞ることで, 児童が見やすいよう工夫されている。</p> <p>・3年生から地図の活用方法が学習できるよう各所に工夫がされているとともに, 様々な地図やグラフが用いられており, 基礎的・基本的な知識・技能が身につくよう構成されている点で優れている。</p>                   |

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 算数 )

No.1

| 記号         | 選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点  |   |  |  |  |  |   |
|------------|--|---|--|--|--|--|---|
|            | (1) 内容, 程度, 分量等  | (2) 教材の選択や構成等   | (3) 興味・関心への配慮等   | (4) 教科の特性, 島根県の<br>実態や課題への適合等  | (5) 発展的学習, 自学<br>自習についての工夫   | (6) その他  | 総 括   |
| A<br>東京書籍  | <p>・1年生の入門期に使用する教科書はA4版の薄い冊子になっており, イラストが大きく, フラットに開くことによりブロック操作がしやすくなるように工夫されており, 優れている。</p> <p>・「算数のしあげ」は問題数が豊富で, 学習内容を振り返りながら分かりやすく復習できるように工夫されている。(6年 p. 198~)</p> | <p>・単元末に「いかしてみよう」を適宜設け, 学んだことを日常生活の中で活かせるよう工夫されている。(6年 p. 172)</p> <p>・単元末に「つないでいこう算数の目」のページを設け特に成長させたい数学的な見方・考え方に焦点を当てて振り返るよう工夫されている。(2年以上)</p>                                    | <p>・単元プロローグでは対話を通して日常事象や生活経験を話題とし, 生活に関連した写真や図を掲示することにより興味や関心をもって学習できるよう工夫されている。(2年上 p. 12, 24)</p> <p>・割合の学習では導入でバスケットボールのシュート成功率を考えさせ, 身近な課題から学習を展開していくよう工夫されている。(5年下 p. 66)</p> | <p>・「今日のふかい学び」では, 板書例を用いて, 主体的・対話的で深い学びを可視化する工夫がされている。(2年下 p. 43~47)</p> <p>・「算数で読みとこう」では, 今日的課題について実生活や他教科と関連したテーマでグラフや表を読み取る力が育成できるよう工夫されている。(4年下 p. 122, 123)</p>                     | <p>・巻末には「ほじゅうの問題」「おもしろい問題にチャレンジ」が掲載されており, 家庭学習等にも活用できるよう工夫されている。(2年以上)</p> <p>・「おぼえてるかな」のページで, 既習事項のふり返りができるように工夫されている。(3年上 p. 26)</p> | <p>・「重さをはかって表そう」では, はかりの写真が大きく, 目盛りが読みやすいよう配慮されている。(3年下 p. 28)</p> <p>・「算数卒業旅行」を設け, 中学校へのスムーズな移行ができるように工夫されている。(6年 p. 228~)</p>                | <p>・全体を通して, 数学的な見方・考え方を価値づけることで深い学びや, より確実な理解につなげていくような工夫が見られ, その点が優れている。</p> <p>・幼小, または小中の円滑な接続のために, 紙面の大きさや内容が工夫されている点が優れている。</p>            |
| B<br>大日本図書 | <p>・各学年1冊で構成されており, 学年のはじめに学年全体の学習を見直し, 振り返りがしやすいように工夫されている。</p> <p>・どの学年も毎時間の適用問題や単元のまとめ問題では, 水色の印で問題のタイプ分けを提示しており, 授業時間や児童の習熟度に応じて柔軟な扱いができるように工夫されている。</p>            | <p>・実物の写真の吹き出しで, 児童が話しかけているようにすることで, 少人数の学級でも比較検討し, 話し合いが深まるように配慮されている。(5年 p. 19)</p> <p>・「かずしらべ」では生活科で育てたあさがおを使った学習課題を提示することで他教科で学習したことを想起させ, 学習に抵抗なく取り組めるよう配慮されている。(1年 p. 66)</p> | <p>・新しい学習が始まる際には, 身近な題材の写真や絵などを大きく載せ, 興味・関心が高まるように工夫されている。(3年 p. 108)</p> <p>・「算数たまたまこ」や「ふくろう先生のなほど算数教室」を設定し, 様々な題材や日常生活と結びつけることで, 算数への興味・関心が高められるよう工夫している。</p>                    | <p>・「帯グラフと円グラフ」では目的に合わせたグラフに作り変えるなど, グラフの内容を読み取ったり, グラフを書いたりする力を高められるよう工夫されている。(5年 p. 178)</p> <p>・「じっくり深く学び合おう!」では, 授業の流れの写真を載せ, 児童が説明しているようにすることで, 学びあいの仕方が具体的に示されている。(1年 p. 108~)</p> | <p>・巻末には「プラス・ワン」「前学年までのまとめ」が掲載されており, 振り返りや学び直しができるよう工夫されている。</p> <p>・「おうちで算数」では, 学習を家庭での生活にも生かせるよう工夫されている。(1年~3年)</p>                  | <p>・全学年でプログラミング的思考を学習するページを用意し, それぞれの学年ごとに完結する内容とし, 授業の進度や児童の学習状況に応じて活用できるように工夫している。</p> <p>・国際理解, 伝統文化, オリンピック・パラリンピックなどの今日の教育課題を取り扱っている。</p> | <p>・学年1冊の本にしたたり, 学年リンクマークを設置したりすることで, 既習事項のふり返りや他教科とのつながりを重視した構成になっている。</p> <p>・巻末には, 「ひらめきアイテム集」として, 算数で使う見方・考え方を示し, より思考力が育成されるよう工夫されている。</p> |

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 算数 )

No.2

| 記号            | 選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点  |   |   |   |   |   | 総 括   |
|---------------|--|---|---|---|---|---|---|
|               | (1) 内容, 程度, 分量等  | (2) 教材の選択や構成等   | (3) 興味・関心への配慮等  | (4) 教科の特性, 島根県の<br>実態や課題への適合等   | (5) 発展的学習, 自学<br>自習についての工夫  | (6) その他   |   |
| D<br>学校<br>図書 | <p>・ AB版の教科書により図形の描き方や時刻に関する問題などで, 見開き1ページで左から右に表されており, 子どもの思考の流れが途切れないよう配慮されている。(3年上P.24)</p> <p>・ 6年に別冊を付け, 「算数で見つけた考え方」「中学校へのかけ橋」の2つの内容で6年間のふり返りと, 中学校に向けての準備ができるよう配慮されている。</p> | <p>・ 単元の導入では, 身の回りの問題を取り上げ, 子どもから出た疑問を「めあて」として, 課題を解決していく展開となっている。</p> <p>・ 5年「単位量あたりの大きさ」と「割合」がそれぞれ2単元に分かれており, 年間を通して継続して学ぶことができるよう配慮されている。(5年上 p. 50, 98)</p> | <p>・ 巻頭「みんなの町の算数」では, 身の回りの建物や事象などの写真が載っており, 算数への興味を深められるよう工夫されている。(2年上)</p> <p>・ 「○年生で見つけた考え方」や「算数で見つけた考え方モンスタ」では, 子どもが楽しみながら「数学的な見方・考え方」を身につけることができるよう工夫されている。</p> | <p>・ 「ふりかえろう つなげよう」のページでは, 単元で学習した内容を統合的・発展的に見直し, 学びを深められるよう工夫されている。(5年生上 p. 142)</p> <p>・ 6年「対称」では, 各都道府県のマークを調べることで楽しみながら学習をする工夫がされている。(p. 102, 103)</p>        | <p>・ 「今の自分を知ろう!」では, 1年間でどの程度力がついたか, 算数の力がうまく活用できるかを自己評価できるように工夫されている。(1年下 p. 72)</p> <p>・ 各單元ごとに「まなびをいかそう」のページがあり, 学んだことを生活の中で生かし, 学びを深めるための配慮がされている。</p> | <p>・ 全学年でプログラミング的思考のページがあり, 筋道を立てて考えることができるよう工夫されている。また, QRコードがついており, 実際に試することができるようになっている。</p> <p>・ 5年生以上の巻末索引には, 英語表記がついており, グローバル化に対応している。</p> | <p>・ A B版の教科書により書き込んだり, 作業したりしやすい作りになっており, 数学的活動を取り込んだ学習を展開しやすい。</p> <p>・ 倍の意味を考える際, テーブ図や2本数直線, 4マス関係表を使って様々な考え方ができるよう工夫されている。(5年上 p. 96, 110)</p> |
| F<br>教育<br>出版 | <p>・ 「まなびリンク」では, 教科書の内容と連動した, 動画やシュミレーションを使って効果的に学習ができるよう工夫されている。(3年上P.23)</p> <p>・ 各領域を貫く数学的な見方に焦点を当てた「算数のミカタ」が単元の間や巻末に掲載され学びと学びをつなぐ役割を果たしている。(5年 p. 205, 294, 295)</p>           | <p>・ 単元導入では, 身近な題材を取り上げ, 「はてな→なるほど→だったら」と, 子どもの問いの連続で授業をつくる流れの構成になっており, 主体的・対話的で深い学びとなるよう工夫されている。</p> <p>・ 教科書下方に, コラムをのせ, 数感覚や図形感覚を養うよう工夫されている。</p>            | <p>・ 単元のまとめでは, 4コマ漫画で学習の振り返りが楽しくできるよう工夫されている。(2年上P.49)</p> <p>・ 「広がる算数」では, 身の回りの算数と関連付け探求的に学習に取り組めるよう工夫されている。(5年 p. 281)</p>  | <p>・ 「学んだことをつかおう」「算数を使って考えよう」では, 学習したことを総合的に活用し, 読解力や表現力, 問題解決能力を身につけられるよう工夫されている。(4年上 p. 70)</p> <p>・ 1年生の「おおきなかず」では, アサガオの種を使い, 他教科との関連もあり, 生活場面から切り取られている。</p> | <p>・ 「ステップアップ算数」「広がる算数」では自主学習ができる内容となっている。</p> <p>・ 「学びのてびき」コーナーが巻末にあり, 自学, 振り返り等への配慮がなされている。</p>   | <p>・ 教科書の軽量化がなされている。</p> <p>・ 「学びのてびき」では, 繰り返し分度器やコンパスの使い方についてまとめがあり, 定着をはかる工夫がされている。</p>   | <p>・ 授業開きの特設教材があり, 学習の進め方を学級で共有し, 伝え合い・学び合いができる環境づくりの工夫がされている。</p> <p>・ フォントや紙面のレイアウトが工夫され, 全体的に見やすい構成となっている。</p>                                   |

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 算数 )

No. 3

| 記号                        | 選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点  |   |   |   |   |   | 総 括  |
|---------------------------|--|---|---|---|---|---|--|
|                           | (1) 内容, 程度, 分量等  | (2) 教材の選択や構成等   | (3) 興味・関心への配慮等  | (4) 教科の特性, 島根県の<br>実態や課題への適合等   | (5) 発展的学習, 自学<br>自習についての工夫  | (6) その他   |  |
| K<br>新興<br>出版<br>社啓<br>林館 | <p>・筆算や図形の学習でQRコードが掲載されており動画で確認しながら学習できるよう工夫されている。(2年上 p. 103)</p> <p>・毎時間の学習のめあてが明示しており, 児童が見通しを持って学習に取り組めるような工夫がされている。</p> | <p>・導入の場面で「学習の入口」を設定し, 既習事項や日常の課題から考えられるよう工夫されている。</p> <p>・4年「割り算の筆算」の単元では, 見開きで丁寧に手順の説明がなされており, 基礎の定着がはかれるように工夫されている。(4年上 p. 40, 41)</p> | <p>・巻末に「かぞえかた」を掲載し, 日常生活での数の数え方を一覧にし, 数に対する興味を持てるよう工夫されている。(1年上 p. 172, 173)</p> <p>・巻末の教具を使った操作活動を通して楽しみながら理解を深めるための工夫が見られる。(3年上 p. 157)</p>                             | <p>・「しりょうしゅう」では, 自分の考えをわかりやすく説明したり, 友達の考えを聞いたりするためのコツや図の描き方が示されている。(2年上 p. 136-139)</p> <p>・仁摩サンドミュージアム, 雲州そろばん, 出雲大社などが掲載されており, 算数を身近に感じることができ。(3年下 p. 63, 100, 4年下 p. 21)</p> | <p>・「じゅんび」がすべての単元に設けられており, QRコンテンツで事前に家庭学習できるよう工夫されている。(5年 p. 16)</p> <p>・「わくわく算数ひろば」では, 日常生活の場面から問題を設け, 活用力を伸ばす工夫がされている。(6年 p. 180, 181)</p> | <p>・各学年第1時に学び方のフローとノート例が設けられ, 授業のイメージが持てるよう工夫されている。(2年以上)</p> <p>・6年「ひろがる算数」では, キャリア教育との関連の中で仕事や生活の中で算数が役に立つことが実感されるよう工夫されている。(6年 p. 234~248)</p> | <p>・各学年で, ブロック図, テープ図, 線分図, 数直線図, 関係図が系統づけられており, 数量関係に着目して考えていけるよう配慮されている。</p> <p>・「じゅんび」「もっと練習」など, 多様な問題が設定しており, 児童の個々の課題に応じた学習ができるよう工夫がなされている。</p> |
| L<br>日本<br>文教<br>出版       | <p>・1年上では, 保育園・幼稚園での活動と算数の学習との繋がりが意識できるよう工夫されている。(1年上 p. 2-5)</p> <p>・優しい色使いやゆったりとしたレイアウトにより, 児童に見やすい紙面構成がなされている。</p>        | <p>・全学年折り返しページで「自分でみんなで」が設定されており, 教室での学習シーンを模した紙面構成となっている。</p> <p>・「わかっているかな」「まちがえやすい問題」では, 繰り返し取り組むことで, 確実に定着させるための工夫がされている。</p>         | <p>・各単元のはじめに, 「やってみよう」「もっと知りたい」というような題材が設定されて折り, 児童の興味・関心を高める工夫がされている。(1年下 p. 38)</p> <p>・4年上「四角形」では, 巻末の付録を使って, いろいろな四角形を作る活動を通して, 児童の興味関心を高める工夫がなされている。(4年上 p. 113)</p> | <p>・「ハロー! 算数」では, 身の回りのことを調べる際に, 既習事項を関連づけて捉えられるよう工夫されている。(3年上 p. 78, 79)</p> <p>・巻末「さんすうでつかいたいことば・考え方」では, 自分の考えを伝えるときのポイントが学年に応じてまとめられ, 言語活動の充実を図る工夫が見られる。</p>                  | <p>・「次の学習のために」「たしかめポイント」, 「算数マイトライ」のページが設けられており, 繰り返し学習ができるよう配慮されている。</p> <p>・2年下巻末に, 「九九マスターカード」があり, 児童が進んで学習に取り組めるような工夫がされている。</p>          | <p>・2年生以上の巻末に「学び方ガイド」がついており, どの学習場面でもシートを参照しながら学習を進めることができるよう工夫されている。</p> <p>・「なるほど算数」では, 身近な題材から, 算数が使われている場面を紹介し, 児童の興味を引く工夫がされている。</p>         | <p>・新設された「データの活用」領域で, 子ども達がデータの収集や分類・整理を楽しむよう題材が工夫されている。(3年上. 64, 65)</p> <p>・基礎・基本を定着させるために, 繰り返し問題に取り組むよう, 構成が工夫されている。</p>                         |

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 理科 )

No.1

| 記号         | 選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点  |   |  |  |  |  | 総 括   |
|------------|--|---|--|--|--|--|---|
|            | (1) 内容, 程度, 分量等  | (2) 教材の選択や構成等   | (3) 興味・関心への配慮等   | (4) 教科の特性, 島根県の<br>実態や課題への適合等  | (5) 発展的学習, 自学<br>自習についての工夫   | (6) その他  |   |
| A<br>東京書籍  | <ul style="list-style-type: none"> <li>どの学年も問題解決の過程が明確になるよう、「理科の学び方」のページがあり, 学年に応じた身に付けたい「理科の力」が示してある。</li> <li>大判になっており, 図や写真などが見やすい紙面構成である。</li> <li>「まとめ」の文章は箇条書きで分かりやすい表記になっている。一文が比較的短く, ユニバーサルデザインの視点から工夫されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>単元配列は, 実験器具や理科室の使用が学年で重ならないように配慮されている。例えば, 5年「物のとけ方」を2学期にし, 6年「水溶液の性質とはたらき」を3学期にして試験管や加熱器具などの使用が重ならないよう配慮されている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>単元導入を3ページ構成にし, 児童の自然事象とのふれあいを重視した導入になっている。さらに1, 2ページ目の導入の体験や写真資料をもとに3ページ目で対話を通して思考を広げ, 深めるという構成になっており, 互いに意見交換をし, 議論する中で多様性を尊重する態度の育成や他者と関わりながら問題解決できるよう工夫されている。(3年 p. 138-140, 4年 p. 128-130)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>「流れる水の働き」では斐伊川が紹介されている。(5年p. 76)</li> <li>「天気の変化」の解答欄で宍道湖の夕日が紹介されている。(5年p. 178)</li> <li>地域による桜の開花の違いで出雲市を取り上げている。地域素材という点から配慮されている。(4年p. 17, 75, 163)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>内容の系統性を意識させる「学びをつなごう」を設定することで, 他学年での学習のつながりを明確にするよう工夫されている。(6年p. 30, 31等)</li> <li>巻末資料「理科の調べ方を身に付けよう」では, 「書く・話す」「観察」「実験」「深める」の項目で, 児童が自分で習得できるように工夫されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>「学んだことをつかおう」で, 既習事項を想起させるようにしている。また算数や社会で学んだことを活用するポイントが書かれている。(5年p. 80, 129, 173)</li> </ul>                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>大判になった紙面に, 写真・絵・図表等が効果的に配置され, 児童が興味をもって学習に取り組み, 「見方・考え方」の「見方」を示すなど, 考えが深まるような配慮がされている。(6年p. 15)</li> <li>写真資料などが他社よりやや大判なものが多く余白も十分とってあり, 見やすくする配慮がされている。</li> </ul> |
| B<br>大日本図書 | <ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決過程が言葉や記号で分かりやすく示してある。</li> <li>「問題」は背景が薄い緑色, 「実験・観察」は背景がクリーム色, 「分かったこと」は薄い紫色, 「確かめよう・学んだことを生かそう」は濃い紫色というように, 学習過程ごとに色分けをして分かりやすくなるように工夫している。</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>実験では, 身近なものを生かしたり, 子供の思考を妨げないシンプルな実験方法・器具が例示されたりし, 工夫されている。</li> <li>上位学年の内容にあたる資料については「○学年で学ぶこと」下位学年で学習したことは「○学年で学んだこと」というマークをつけて意識できるようにしている。また, 中学校での学習内容にあたる資料には「中学校で学ぶこと」とマークをつけている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>単元の導入が, 児童が実際に体験でき, その中で課題をもてるものになるように工夫されている。</li> <li>「理科のたまてばこ」では, 学んだことに関する読み物があり, 学習したことをより深めていくのに効果的である。</li> <li>巻末に「理科すごろく」があり, 児童が興味・関心をもって取り組めるよう工夫されている。(6年巻末)</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>「ものの燃え方」では, たたら製鉄の資料として, 島根県安来市「和鋼博物館」と島根県出雲市「県立古代出雲歴史博物館」の展示物が紹介されている。(6年p. 23)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>単元の終わりに「確かめよう」「学んだことを生かそう」が設定されており, 自分の学びをふり返ることができる。特に「学んだことを生かそう」は活用問題として文章で説明するようになっており, 工夫されている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>プログラミング的思考を育成するための読み物が掲載されている。3年生では「電気と磁石を使った仲間分け」, 4年生では「バイメタル」, 5年生では「台風が生活にもたらす影響」というように, 各学年で発達段階に応じた資料が提供されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決過程がはっきりと示されており, 教科書に沿って学習をすれば, 自然と問題解決の力がつくようになっていく。</li> <li>単元末に「チャレンジ問題」が用意され, 学んだ知識を活用したり, 複数の資料から考えを深めたりできるように配慮されている。(6年p. 220)</li> </ul>                 |



選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 理科 )

No.2

| 記号            | 選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点  |  |  |  |  |  | 総 括   |
|---------------|--|--|--|--|--|--|---|
|               | (1) 内容, 程度, 分量等  | (2) 教材の選択や構成等  | (3) 興味・関心への配慮等   | (4) 教科の特性, 島根県の<br>実態や課題への適合等  | (5) 発展的学習, 自学<br>自習についての工夫   | (6) その他  |   |
| D<br>学校<br>図書 | <p>・どの学年においても, 問題解決過程と, 学年別の働かせたい考え方が明示され, 優れている。</p> <p>・各ページに, 問題解決過程の今どこを学習しているか明示され優れている。</p> <p>・全単元の導入ページに身に付けさせたい資質・能力を活動内容として示し, 児童が見通しをもって学習に取り組めるよう配慮され優れている。</p>      | <p>・「夏の星」では, 春夏秋冬の星座がページ全面を使って紹介され年間を通して観察できる工夫がされている。<br/>(4年p. 82-85)</p> <p>・「雲と天気の変化」では, 年間を通じた天気の変化について取り上げ, 日本全国に目向けられるよう工夫されている。また, 高度と雲の種類についても一目で確認できる資料も掲載されている。<br/>(5年p. 83)</p> | <p>・学んだことにつながる読み物資料が示してあり, 実生活につながる工夫がされている。</p> <p>・各学年とも表紙に3名の科学者の顔写真が掲載され, 「科学者の言葉」として表紙の裏に言葉を紹介することで, 科学への興味・関心を高めている。朝永振一郎, ガリレオ・ガリレイ, レイチェル・カーソン等が紹介されている。</p> | <p>・「雲と天気の変化-冬から春へ」では, 日本海側の様子として松江市が上げられ, 「雪の松江城」の写真が掲載されている。<br/>(5年p. 139)</p> <p>・「水溶液の性質」では, フローチャートを使い水溶液の見分け方が整理されており, 理科の「考え方」に沿った配慮がされている。<br/>(6年p. 169)</p> | <p>・単元の終わりに活用問題があり, 文章で説明するようになっている。児童の苦手とするところであり, 継続的に指導ができるという点で優れている。</p> <p>・巻末に, 「見つける」「伝える聞く」「観察」「記録」「調べる」「実験器具の使い方」等の項目でわかりやすくまとめられている。また, 図書館での本を用いた調べ学習に関する内容を掲載し, 図書館を活用し思考を深める配慮がなされ, 自学自習の工夫がされている。</p> | <p>・教科書のページに二次元コードが印刷されており, そのページに合ったコンテンツを視聴することができ, 動画等で確認できるなど工夫されている。</p> <p>・「火山の噴火と地震」では, 災害写真を掲載するにあたり, 被災者への配慮文が掲載されている。<br/>(6年p. 136)</p>                            | <p>・じっくりと理科学習に向かい, 学習内容を積み上げる紙面構成となっており, 子供自身が思考する上で優れている。</p> <p>・理科で学んだことと生活の中の自然事象との関わりが大切にされている。</p>                                |
| F<br>教育<br>出版 | <p>・人気キャラクター(アトム)を使い, 問題解決過程が分かりやすく示してある。特に, 結論は, 印象に残るよう工夫されている。</p> <p>・各学年の発達段階に応じた「ノートのとり方」のページがあり, 実験前に結果の見通しを記述することを示し, 児童が実験を構想する力をつけることができよう工夫されている。<br/>(3年 p. 162)</p> | <p>・B区分の各単元の配列は, 地域による動植物の成長のちがいや気象条件の特性, 見ることができると地層や河川などを示してあり, どの地域でも無理なく学習できるように工夫されている。</p> <p>・「ものの燃え方と空気」では, 燃焼後の空気の有無から空気の成分変化へとつなげており, 児童が実感をもって学べる構成となっている。<br/>(6年p. 13-16)</p>   | <p>・台風のつくりが断面図で示してあり, 児童の興味を引き, 分かりやすいものになっている。<br/>(5年p. 82)</p> <p>・各学年で学習する内容と関わりのある科学者が紹介してある。</p>   | <p>・「水溶液」では, 自然蒸発によって溶けている物を析出する実験方法が紹介されており, 安全面に配慮されている。<br/>(6年p. 175)</p> <p>・「チャレンジ」で親しみやすい「ペットボトルロケット」が紹介されている。<br/>(4年p. 122)</p>                               | <p>・単元末の「科学のまじど」, 巻末「広がる科学の世界」を設置し, 日常生活と学習内容のつながりを意識させる工夫が取り入れられている。<br/>(6年p. 224-225)</p> <p>・インターネットで調べ学習をする場合の二次元コードが載せてある。</p>   | <p>・巻頭に「自分たちの考えを伝え合い, 学び合おう」を掲載し, 国語科で学習した言葉の力の活用を紹介している。<br/>(6年p. 7)</p> <p>・はじめのところで前学年で学習したことがまとめられ, 単元の導入では学習内容のつながりが示され, 巻末では学年の学習がまとめられており, 学習のつながりを意識できるよう工夫されている。</p> | <p>・学習内容と学年とのつながりを重視した紙面構成となっている。</p> <p>・巻頭に, 「自分たちの考えを伝え合い, 学び合おう」を掲載し, 国語科で学習した言葉の力の活用を紹介するなど, 教科横断的な言語活動の充実を図っている。<br/>(6年p. 7)</p> |

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 理科 )

No.3

| 記号                        | 選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点   |   |  |  |   |   | 総 括   |
|---------------------------|---|---|--|--|---|---|---|
|                           | (1) 内容, 程度, 分量等   | (2) 教材の選択や構成等   | (3) 興味・関心への配慮等   | (4) 教科の特性, 島根県の<br>実態や課題への適合等  | (5) 発展的学習, 自学<br>自習についての工夫  | (6) その他   |   |
| K<br>新興<br>出版<br>社啓<br>林館 | <p>・各単元の導入と単元末に同じ問いかけ【考えてみよう】を掲載しており, 単元の前後での学びの深まりを確認できるよう工夫されている。</p> | <p>・問題を科学的に解決できるように「結果から考えよう」を設置し, 結果を整理して考察する過程を丁寧に扱い, より科学的に考え, 話し合う活動を充実させている。<br/>(3年 p. 46, 120)</p> | <p>・「つなげよう」では, 実生活とのつながりが意識できるものを取り上げられている。(4年p. 43)<br/>・巻末に, 5年「雲の観察カード」, 3年「植物探検カード」, 6年「月の満ち欠けモデル」が添付されており, 興味・関心を高める工夫がされている。</p> | <p>・ヒョウタンが取り上げられている。結実した後の処理が簡単で育てやすいものを取り上げるよう工夫されている。(4年p. 14, 48)<br/>・実験器具を取り扱うページに二次元コードが配置されており, 気体検知管の使い方等を動画で確認できるよう工夫されている。<br/>(6年p. 16, 17)</p> | <p>・「理科の広場」では, 「銀河鉄道の夜」が紹介されていて, 読書活動との関連が図られている。(4年p. 57)<br/>・二次元コードによるコンテンツの利用によって家庭でも復習などが行えるようにしている。(3年 p 47~48)<br/>・「ものづくり広場」で学習したことを活用され, 取り組みやすいよう工夫されている。</p> | <p>・他教科(特に算数科)との関連が丁寧に取り上げられており, 学んだことを活用できるように配慮がされている。(3年 p 150, p 172-173)<br/>・「プログラミングを体験しよう」では, シートとシールを用いて, 楽しく学習に取り組めるよう工夫されている。<br/>(6年p. 180)</p> | <p>・他教科(特に算数科)との関連が丁寧に取り上げられており, 学んだことを活用できる配慮がなされている。(6年p. 206-207)<br/>・二次元コードが随所に配置されており, 学んだことを情報機器を用いてふり返ることができるよう工夫されている。</p> |

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 生活 )

No.1

| 記号         | 選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点  |  |  |   |  |   | 総 括   |
|------------|--|--|--|---|--|---|---|
|            | (1) 内容, 程度, 分量等  | (2) 教材の選択や構成等  | (3) 興味・関心への配慮等   | (4) 教科の特性, 島根県の実態や課題への適合等   | (5) 発展的学習, 自学自習についての工夫   | (6) その他   |   |
| A<br>東京書籍  | <p>・「がっこうせいかつすたあと」では, 保護者向けに, 「幼児期終わりまでに育てほしい姿」を示し, 小学校生活に円滑に接続していけるように工夫されている。(上p.1-11)</p> <p>・どの単元でも, 活動の場面がイラストと吹き出しで掲載されており, 1年生の児童にとってわかりやすく見通しをもって学習できるよう工夫されている。</p> | <p>・児童の思考の流れに沿った「学びのプロセス」を掲載し, 見通しをもって学習が進められるように工夫されている。</p> <p>・児童の発達の段階や特性を踏まえ, 育成する能力が, 上巻から下巻へと段階的に高まるように単元が構成されている。(上, 花→下, 野菜, 上, 学校→下, 地域)</p> | <p>・大胆で表情豊かな児童の写真や大きくはっきりした昆虫の写真などにより, 児童の学習への意欲を喚起する工夫がされている。</p> <p>・上巻下巻とも「やってみよう」では, 多様な活動例が示されており児童の興味・関心・活動意欲が高まるよう工夫されている。(上p.38.90.91, 下p.20.32)</p> | <p>・町探検の単元では, 探検の計画を立てる場面が設定され, 様々な探検の場が掲載されており, 地域の実態に合わせて活動できるように配慮されている。</p> <p>・幼児や高齢者, 外国人, 異学年児童など, 様々な他者と協働して一緒に思いや願いを実現する活動が随所に掲載されている。</p> | <p>・保護者と学ぶデジタルコンテンツが充実しており, 児童が家庭でも保護者と共に自主的に学習できるよう配慮されている。</p> <p>・上巻末のそのまま取り外せる「ポケットずかん」や学習に即して使う「ずかん」等, 自分で身近な植物や生き物を調べたりできるよう工夫されている。</p> | <p>・紙面右端に他教科で身につけた資質, 能力を活かす場面が掲載されており, 効果的に使って活動できるように工夫されている。</p> <p>・大判の教科書で1ページあたりの情報や資料が多く, 確かな学びを支えることができる。</p>   | <p>・上巻の巻頭では, 「幼児期の終わりまでに育てほしい姿」を示し, 小学校生活に円滑に接続していけるよう工夫されている。</p> <p>・児童の思考の流れに沿った「学びのプロセス」を掲載し, どの単元でも活動の場面がイラストと吹き出しで掲載されており, 見通しをもって学習が進められるように工夫されている。</p> |
| B<br>大日本図書 | <p>・「しょうがっこうせいかつがはじまるよ」では, 活動ごとの時間配分を示すことで, 入学直後の柔軟なカリキュラム編成ができるように工夫されている。</p> <p>・「きらきらことば」の欄を設け, 困った時や仲間づくりをより深めるための具体的な言葉を紹介することで, 言語能力の育成が図れるよう配慮されている。</p>             | <p>・見開きごとに, 風船マークの中に, 活動内容を分かりやすい言葉で示し, 児童が課題意識をもって活動ができるように工夫されている。</p> <p>・上巻は, 季節に沿った大単元構成になっており, 季節と活動, 児童の実生活が一体化するように工夫されている。</p>                | <p>・表紙に触って楽しむイラストがあり, 手触りを楽しむ, 発見して楽しむ等生活科に対する興味・関心が高まるよう工夫されている。</p> <p>・「あきのいろってね」では, モノクロの写真が使用されており, 児童の想像力を刺激するよう工夫されている。</p>                           | <p>・下巻の「せかいのなにかま」では, 世界各国のあいさつの言葉や料理, 児童の写真が載っており, 異文化について興味を持てるよう工夫されている。(p.134.135)</p> <p>・生活科固有の指導を通して, 道徳性の育成に目が向くように配慮されている。</p>              | <p>・上下巻ともに「せいかつのことば」の欄があり, 語彙に関心を持ち日常生活でも使える言葉が増えるように工夫されている。</p> <p>・巻末の「がくしゅうのどうぐばこ」には, 豊富な資料が掲載されており, 活動の中で必要に応じて参考にできるよう工夫されている。</p>       | <p>・「がくしゅうのどうぐばこ」の「夜の長さってどのくらいかな?」では, 夜の長さを図示し, 生活と時間の関連が意識できるように工夫されている。</p> <p>・下巻「花や野菜の大きくなるひみつはっけん」では, 色々な野菜料理の写真が掲載されており, 野菜の栽培意欲が高まるように工夫されている。(下p.17-19)</p> | <p>・諸感覚を使って児童が対象に働きかけ, 豊かな活動ができるよう工夫されている。</p> <p>・伝え合う場面で, 多様な表現方法が例示されている。</p>  |

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 生活 )

No.2

| 記号            | 選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点   |  |  |   |   | 総 括  |   |
|---------------|---|--|--|---|---|--|---|
|               | (1) 内容, 程度, 分量等   | (2) 教材の選択や構成等  | (3) 興味・関心への配慮等   | (4) 教科の特性, 島根県の<br>実態や課題への適合等   | (5) 発展的学習, 自学<br>自習についての工夫  |  | (6) その他   |
| D<br>学校<br>図書 | <p>・「がっこうだいすき」では, 基本的な生活習慣の確認や遊びの要素を取り入れた学習活動をシンプルに示し, 学校生活への意欲を高めるよう工夫されている。</p> <p>・児童のノート例が数多く示され, 参考にして書くことで記録の仕方を学び, 記録を振り返ることで自分の成長も自覚できるように工夫されている。</p>                      | <p>・目次に月が示されており, 何月にどのような活動をするのかが一目で分かるようになっている。</p> <p>・内容が「探検単元」「遊び単元」「栽培単元」「飼育単元」「成長単元」の大単元方式で構成されており, 連続した紙面で自分の成長や変容が自覚できるよう配慮されている。</p>                | <p>・単元冒頭の扉ページには, 臨場感のある大きな写真ページが設けられており, これから行う活動についての意欲を喚起するよう配慮されている。</p> <p>・各大単元の左上に学習の段階を区分したバーがあり, 現在どの時点にあるのかが示されており, 見通しをもつて取り組めるようになっている。</p> | <p>・下巻では, 季節ごとの各地の祭りの写真が掲載されており, 日本各地に興味をもたせると共に, 自分たちの住む地域の行事や伝統文化にも関心が向くように工夫されている。</p> <p>(下p. 28-35)</p> <p>・幼児・高齢者・障害のある人など, 様々な人々が登場し, 男女の登場回数や役割分担に偏りがないように配慮もされている。</p> | <p>・巻末の「学び方図鑑」では, 話す・聞く・書く等の「学ぶ力をつけるためのわざ」が示されており, 国語や他教科の表現力にもつながるよう配慮されており, 自己評価もできるようになっている。</p> <p>・「ものしりノート」に記録の書き方, 乗り物の乗り方, 季節ごとの遊びなど, 学習や生活の中で役立つヒントがいろいろ載せられている。(上p. 25. 46. 47 下p. 12. 13. 14.)</p> | <p>・「ありがとう」の場面を多く取り入れ, 他者との関わりでは, 常に「ありがとう」という感謝の気持ちを大切にできるように配慮されている。</p> <p>・記録カードに教師のコメントが示されており, 児童の気づきを価値づけていけるよう配慮されている。</p>   | <p>・発達の段階に配慮した様々なワークシートが例示されており, それらを参考にしながら気づきや思いを書き込むことができるように工夫されている。</p> <p>・生き生きとした児童の写真が数多くあり, 児童の興味・関心を引くよう工夫されている。</p>                |
| F<br>教育<br>出版 | <p>・「きょうから1ねんせい」では, 小学校生活の写真と入学前の生活を結びつけて考えられるよう工夫してある。(上p. 8-13)</p> <p>・コラム「ひんと」で, 五感をつかう, 比べる, たとえる, 試す, 予想する, 工夫するなど, 学習活動のヒントになる言葉が提示されており, 繰り返し使うことで学習の仕方が身につくように工夫されている。</p> | <p>・思考ツールを取り入れた板書を例示したり, 順序をつけて考え, 分類する学習方法を例示したりするなど, プログラミング的思考を取り入れた学習ができるように工夫されている。</p> <p>・生活科の教科目標を6つの力として整理し, 見開きのページごとに特に発揮すると効果的な力をサイコロで示している。</p> | <p>・生き物や木の実クイズを載せることで, 児童が興味をもって調べ活動ができるように工夫されている。</p> <p>・四季の変化がわかる町の様子イラストや写真のページが見開きで設けられており, 見つけたり比べたりする楽しさが味わえるよう工夫されている。</p>                    | <p>・「わたしのまち自まん」では, 各地域のよいところが写真と方言を交えたコメントで紹介されており, 自分の地域のよさに目をむけることができるよう工夫されている。</p> <p>(下p. 42-43)</p> <p>・Web情報「まなびリンク」やICT機器の活用など, 新しい学び方が提案されている。</p>                     | <p>・体験をした後に「もしも」のページが設けられており, 様々な「もしも」を考えることで, 豊かな発想を広げ, 予測困難な社会の変化に主体的にかかわる力を引き出す工夫がされている。</p> <p>・「本から学ぼう」では, 単元に関係する書籍が紹介され, 図書館活用教育との関連が図られている。(上p. 136 下p. 132. 133)</p>                                 | <p>・単元のはじめに, 「学びのポケット」のインデックスがあり, 巻末とあわせて他の教科との関連が示されている。</p> <p>・教科書全体を通して, 活動への意欲や自信をはかるバロメーター「まんぞくハシゴ」が登場し, 自己評価できるよう工夫されている。</p> | <p>・単元の終わりに振り返りの活動が設定されており, 多様な方法で振り返りをし, 気づきが深まるよう工夫されている。</p> <p>・巻末に「学びのポケット」があり, 単元のはじめのインデックスとあわせて各教科との関連を明確にし, 横断的な指導ができるよう工夫されている。</p> |

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 生活 )

No.3

| 記号  | 選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点  |  |   |   |   |   | 総 括  |
|---|--|--|---|---|---|---|--|
|   | (1) 内容, 程度, 分量等  | (2) 教材の選択や構成等  | (3) 興味・関心への配慮等  | (4) 教科の特性, 島根県の<br>実態や課題への適合等   | (5) 発展的学習, 自学<br>自習についての工夫  | (6) その他   |  |
| I<br>光<br>村<br>図<br>書<br>館                | <p>・「あたらしいいちねんせい」では, 入学当初の活動を「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の10項目を踏まえて示し, 幼児期から小学校への円滑なつながりができるように工夫されている。</p> <p>・「どうすればコーナー」には, 活動のヒントや気づかせたいポイントなどが示されており, 深い学びにつながるよう工夫されている。</p>          | <p>・学習過程を「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階で構成し, 学習の流れやねらいが明確になり, 学びが定着するように工夫されている。</p> <p>・「あそんでためてくふうして」では, 動くおもちゃを作る過程で試行錯誤の場面を取り上げ, 学びの質が高まるような学習過程になるよう工夫されている。</p>       | <p>・「きせつのおくりもの」では, 四季の移り変わりや町の様子の変化を絵や写真で見つかりたり比べたりしながら, 楽しめるようになっている。</p> <p>・単元の導入で, 児童達自身が学習課程を確認できるように「見通し」コーナーがあり, その後の活動に主体的に取り組めるように工夫されている。</p> | <p>・QRコードを読み取ることで, 160点以上収録された学習の参考となる写真や動画などを見ることができるよう工夫されている。</p> <p>・上巻「にこにこがいっぱい」では, 自分のふるまいについて考えることができるようになっており, 島根県の「ふるまい名人」とあわせて指導することができる。</p>        | <p>・「ひろがるせいかつじてん」では, 防災・安全, 生活上必要な習慣, 体験活動・表現活動の例が掲載されており, 自分の生活につなげていけるように工夫されている。</p>   | <p>・児童が活動の振り返りをシールに書いて記録できると共に, シールをまとめて貼り直し, 1年間の自分の成長を感じることができるよう工夫されている。</p>   | <p>・ホップ・ステップ・ジャンプの3段階で学習過程を示し, 学びを深める過程を児童が見通せるように工夫されている。</p> <p>・上下巻ともに, 表紙, 巻頭扉, 目次, 巻末のイラストが一つのストーリーでつながっており, 優しいイラストが児童の興味をひくよう工夫されている。</p>                                     |
| K<br>新<br>興<br>出<br>版<br>社<br>啓<br>林<br>館 | <p>・上巻巻頭「すたあとぶつく」では, 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえて, 児童が安心して学校生活を始められるように, 写真や絵で分かりやすく示されている点(上p.1-16)が優れている。</p> <p>・カードの例示がされており, 入学当初から段階的に絵のみから文章量を増やす等, 発達段階に応じた例となるように配慮されている。</p> | <p>・「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の生活科の学びのプロセスを考慮した3段階で構成されており, 活動の流れが児童にも分かりやすいように配慮されている。</p> <p>・町探検では, 活動が進むにつれ絵地図への書き込みが増えており学習の深まりを視覚的に表現している点で優れている。(下p.30, 36, 82)</p> | <p>・紙面右下にめくり言葉を設定し, 児童の思いや願いが次の活動につながるように工夫されている。</p> <p>・単元の導入に「わくわくボックス」というページを設け, 写真やクイズなどで, 児童の「やってみよう」という意欲が高まるよう工夫されている。</p>                      | <p>・「町の人にインタビューしよう」では, どんなインタビューをすればいいのかわかるよう例示され, 地域の実態に合わせて活動できるよう工夫されている。(下p.78, 79)</p> <p>・ICTが有効な場面にはQRコードが掲載されており, 学校や家庭で学習の助けになる教材が利用できるように工夫されている。</p> | <p>・巻末の「かくしゅうずかん」では, 調べ方, 記録の仕方, 考えの深め方, まとめ方・伝え方などについて掲載されており, 児童が主体的に学習できるように工夫されている。</p> <p>・「できるかなでできたかな」や「ひろがるきもち」のコーナーでは, 何ができるようになったか, どんなことを生活に活かしていこうと思うのかを振り返ることができるように工夫されている。</p> | <p>・下巻巻末に「ステップブック」を配置し, 上巻のスタートブックと同様, 小寸サイズにし, 学びの入り口と出口が分かりやすい構成になるよう配慮されている。</p> <p>・掲載されている写真の児童の表情が豊かで, 興味関心が高まるよう工夫されている。</p> | <p>・単元が「わくわく」(思いや願いをもつ)「いきいき」(活動や体験をする), 「ぐんぐん」(伝え合う・振り返る)の3段階構成になっており, 活動の流れが児童にも分かりやすい点で優れている。</p> <p>・上巻の巻頭には「スタートブック」, 下巻の巻末には「ステップブック」がついており幼児教育から中学年への円滑な接続が図られている点で優れている。</p> |

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 生活 )

No.4

| 記号                              | 選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点   |   |  |  |  |  |  |
|---------------------------------|---|---|--|--|--|--|--|
|                                 | (1) 内容, 程度, 分量等   | (2) 教材の選択や構成等   | (3) 興味・関心への配慮等   | (4) 教科の特性, 島根県の実態や課題への適合等  | (5) 発展的学習, 自学自習についての工夫   | (6) その他  | 総 括  |
| L<br>日<br>本<br>文<br>教<br>出<br>版 | <p>・「いちねんせいになったら」は、幼児期の学びを活かし、小学校生活に円滑に接続していけるように、写真とキーワードですっきりと示す工夫がされている。(上p.4-17)</p> <p>・シンプルなレイアウトや明確なタイトルですっきりと見やすい。また、紙面の各要素が定位置に置いてあり、見通しをもって授業に臨むことができるように工夫されている。</p> | <p>・小単元の左下に育成すべき資質・能力の「三つの柱」に基づいた「学習のめあて」を示し、児童が「何をどう学ぶのか」が分かるように工夫されている。</p> <p>・下巻巻頭「2ねんせいのはじまるよ」は、2年生でやってみたいことを話し合う中で、見通しをもたせると共に、1年生との交流を配置し、2年生への意欲の喚起を促す工夫がされている。</p> | <p>・単元のとびらは、見開きで、表情豊かな人物の大きな写真で示されており、児童の学習への期待感や意欲を高めるような配慮がされている。</p> <p>・上巻では、数ページを「やまおり」することで、植物の成長過程が一目で、児童のわくわく感を引き出すし、かけがえが工夫されている。(上p.40-44)</p> | <p>・「もういちどたんけんしよう」では、デイサービスへの訪問の様子や農家を訪ねる様子が紹介されており、地域の実態に合わせた活動ができるように工夫されている。(下p.68-71)</p> <p>・伝統文化や郷土の特色などに児童が関心をもって関わる学習活動の事例が挿絵や写真、吹き出しで示されており、自分たちの住む地域の行事や伝統文化にも関心をもつことができるように工夫されている。</p> | <p>・「ちえとわざのたからばこ」では、必要な知識・技能や学び方の手法が多様に掲載されており、学習活動や実生活、次の学年につながる工夫がされている。</p> <p>・単元に関連する内容を「ポケットずかん」として各単元に収録してあるので、主体的に調べたり、活用したりすることができるような構成になっている。</p> | <p>・すべての文字で教科書体に準じた正しい字体に配慮したフォントを使用し、またすべての漢字にふりがなを付け読みやすくしている。</p> | <p>・小単元の左下に育成すべき資質・能力の「三つの柱」に基づいた「学習のめあて」を示し、児童が「何をどう学ぶのか」が分かるように工夫されている。</p> <p>・シンプルなレイアウトですっきりと見やすく、タイトルなどページを構成する要素を定位置に置き、「何をしたいのか」児童にも分かりやすい写真やイラストを使っている。</p> |

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 音楽) No.1

| 記号                 | 選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点  |   |   |   |  |  | 総 括   |
|--------------------|--|---|---|---|--|--|---|
|                    | (1) 内容, 程度, 分量等  | (2) 教材の選択や構成等   | (3) 興味・関心への配慮等  | (4) 教科の特性, 島根県の<br>実態や課題への適合等   | (5) 発展的学習, 自学<br>自習についての工夫   | (6) その他  |   |
| F<br>教育<br>出版      | <p>・全学年で「まなびナビ」が示されており児童の主体的な学びを引き出すよう工夫されている。(2年 p 49)さらに「まなびナビ」を発展させた「学び合う音楽」の中で「学びのプロセス」を示し児童がより学習への見通しをもって取り組むことが出来るよう工夫されている。(6年 p 16)</p> <p>・目次に学習内容のオプシオンが示してあり学校の実態や児童の興味関心に応じた学習展開ができるよう工夫されている。<br/>(各学年目次)</p> | <p>・題材ごとに「音楽のもと」として要素を明示し3年生以上はメモ欄に学習したことを記入できるような工夫がされている。(3年 p 27)</p> <p>・鑑賞教材で5年生のオーケストラで弦楽器, 管楽器など音色について学習するようになって学習するようになっていくが, 音色について丁寧に押さえるために, 楽器ごとに学年配列するなど工夫が望まれる。(5年p30)</p>  | <p>・鍵盤ハーモニカの写真が実物大であり, 簡易楽譜と写真を見ながらすぐに鍵盤の学習に取り組むことができ, また鍵盤ハーモニカの実物がなくても学習できるような工夫がされている。(1年p32~p39)</p> <p>・鑑賞教材の挿絵, 写真が学習のねらいに関するヒントとして示されており, 児童が興味をもって学習に取り組める。(2年p34, p35, 5年p50)</p>  | <p>・巻末の「音楽ランド」では, 全学年共通の楽曲が掲載され, 全校での合唱や活動に活用できるような工夫が見られる。</p> <p>・教材を通して学ぶ共通事項について見開きの右ページに示されており指導への配慮と児童の理解を深める工夫がされている。(4年p21)</p> <p>・全学年「音のスケッチ」として音楽づくりの内容が示され学年に応じた取組ができるよう工夫されている。(6年 p 34)</p> | <p>・全学年で「ShortTime Learning」として英語の歌を取り上げ, 児童が英語の歌にも関心を広げ発展的に学習に取り組むきっかけを示す工夫がなされている。<br/>(全学年目次)</p> <p>・リコーダーの学習において巻末に右開きのページを準備し, 教科書の楽譜と同時に見ることができるようになるように工夫されている。<br/>(6年p77)</p>                          | <p>・共通教材は「にっぽんのうた・みんなのうた」として, 折込みの写真や絵があり, 情景を思い浮かべたり曲想を考えた上で効果的である。(3年p40)</p> <p>・3年生以上の巻末には「音楽を表すいろいろな言葉」を紹介したり, 音楽を言葉で印象的に表現したりすることを通して音楽に関する表現力を高めることができるような工夫がなされている。<br/>(5年p47, p76)</p> | <p>・外国の歌(4年p63), テレビのヒット曲(4年p27, 5年p54)など幅広いジャンルからの教材選定が行われており, 児童が興味をもって学習に取り組むことができる工夫がなされている。</p> <p>・「音楽のもと」や鑑賞教材についての書き込みのページ(4年p53), セロハンを用いた提示の工夫(5年p31)などがあり, 児童が興味をもち, 積極的に学習に取り組むことができる工夫がなされている。</p> |
| H<br>教育<br>芸術<br>社 | <p>・どの学年も, 「つながり」をキーワードとした「心をつなぐ歌声」の楽曲でスタートし, 進級の喜びや, 友だちづくりへの期待が感じられる構成となっている。(5年p8)</p> <p>・全学年巻頭に年間の学習の流れが示されており, 見通しをもって取り組めるよう工夫されている。</p> <p>・教材について, 「知覚」「感受」の観点から捉えることができるような工夫がされている。(6年p35, p41)</p>             | <p>・全学年の教材のページ下に「要素」が示されており, 教材において特に大事に扱いたい「要素」については太字で示してあり学習内容が明確になるよう工夫されている。<br/>(4年p19)</p> <p>・鑑賞教材において3年生金管楽器, 4年生木管楽器についてはページ構成が同じで比較しやすくなっており, 5年生で弦楽器, 管弦楽を学習するようにと系統性をもって学年に配列する工夫がなされている。(3年 p 51, 4年p54, p55, 5年p21, p27)</p> | <p>・わらべうたでは友だちと楽しみながら歌う工夫があったり, 音楽づくりでは友だちとの対話をしながら協働的に活動できたりする工夫がなされている。<br/>(1年p65, 3年p56)</p> <p>・リコーダーの演奏においてイラストなど使ったコラムのページを準備し, 児童が音の出し方のイメージをもてるように工夫されている。(3年p45 6年p27)</p> <p>・演奏者の声を紹介し興味をもって鑑賞することができるよう工夫されている。(5年p45)</p> | <p>・石見神楽, 熊野大社が取り上げられ, 地域に伝わる音楽について調べる方法を紹介しており, 主体的にそして発展的に学習できるよう示されている。<br/>(4年p28, p87)</p> <p>・教材の扱い, 題材の配列について系統性がわかりやすく示してあり担任が授業する上で指導に見通しをもって取り組むことができる。<br/>(各学年目次)</p>                         | <p>・特集として音楽と社会, 音と社会のつながりについて示してあり実生活と音楽の学習の結びつきを意識できるよう工夫されている。<br/>(6年 p 47, p74)</p> <p>・全学年「ふり返りのページ」では音楽を形づくっている要素について教材と関連しながら示してあり指導する上でのガイドとなる。また保護者への説明として取り上げ, 家庭での学習にむけた取組として工夫されている。<br/>(4年p83)</p> | <p>・音楽のみならず様々な分野で活躍する人々の思いが扱われており, キャリア教育の視点をもっている。(5年p2)</p> <p>・全学年共通教材を「こころのうた」として示し挿絵, 写真も大きくて美しく, また歌詞の示し方, 配色等大変見やすいよう工夫されている。</p>   | <p>・題材構成において, 題材のねらい, 学習目標, 活動について指導しやすいように配列しており, 段階を追って学習することができるように工夫されている点(4年p10)</p> <p>・学習内容がスモールステップで分かりやすく示してあり, 指導する上でも学習する上でも手引きになるように工夫されている点で優れている。<br/>(1年p26, p 46)</p>                           |

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 図画工作 )

No.2

| 記号                              | 選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点  |   |   |   |   |   | 総 括   |
|---------------------------------|--|---|---|---|---|---|---|
|                                 | (1) 内容, 程度, 分量等  | (2) 教材の選択や構成等   | (3) 興味・関心への配慮等  | (4) 教科の特性, 島根県の<br>実態や課題への適合等   | (5) 発展的学習, 自学<br>自習についての工夫  | (6) その他   |   |
| C<br>開<br>隆<br>堂<br>出<br>版      | <p>・題材が豊富で, 個人で深める活動に加えて共同で取り組む活動や他者を想定した活動が多く提案されている。</p> <p>・高学年の教材は, 短時間で取り組めるものが多く, さらに児童の興味関心を引くものが多い。</p>                    | <p>・各学年, 2~4ページにカリキュラムを系統的, 構成的に図示し1年間の見通しがもちやすくなっている。</p> <p>・ひらめきコーナー(工作)がすべての学年に設けられており, 紙や紙でできた身近なものを使って作る活動が, 系統的に配列されている。</p> | <p>・自ら課題を見つけ試行錯誤しながら自己決定し主体的に活動をすすめる学習の流れを, 写真やイラストで分かりやすく表現している。</p> <p>・比較的明暗がはっきりした写真が多く使用されている。</p> <p>・学習のめあてが資質能力の3つの柱に基づいて示されているが, 特に重点的に育てたい力が1つ強調されている。そして, そのめあてのふりかえりが児童に問いかける文章表現で示されている。</p> | <p>・意味のまとまりごとに改行位置を工夫し, 障害のある児童にも文章の意味が分かりやすくなっている。</p> <p>・QRコードで, 手順, ポイント, 用具の使い方の動画を見たり, 英単語の発音を聞いたりすることのできる補助資料が含まれている題材数が多い。</p>          | <p>・5, 6年には, 「つながる造形」のコーナーが設定されており, 造形を通して自分の生き方を考えていくきっかけになる。</p> <p>(5, 6年上下P44~47)</p> <p>・全学年「みんなのギャラリー」のコーナーが設定されており, 他者や地域・伝統文化との関わりを意識できるようにになっている。</p> <p>(全学年P48, 49)</p>                | <p>・その活動で使う用具と材料が絵だけでなく文字表記でも分かりやすく示されている。</p> <p>・「ぞうけいの引き出し」は, 材料・用具の知識だけでなく, 「造形的なものの見方や考え方」「鑑賞の方法」などの知識・技能も充実している。</p> <p>・安全, 片付けを意識した表示がされている。写真やイラストでわかりやすく, また, 囲みを設けて具体的に示されている。</p> | <p>・3つの育てたい資質, 能力に対応した「学習のめあて」が各題材ごとに配置されている。そのうち, 特にその学習で重点的に育てたい力は, 下線と色で強調されているので, 児童も教師も意識しやすい。</p> <p>・全体的に表現の楽しさが伝わってくる活動写真が多く使われている。見るだけで, やってみたい, 作ってみたいという気持ちが生まれやすい。また, 写真も鮮明でわかりやすい。</p> <p>・巻末に様々なコーナーが設けられていて, どのコーナーもねらいが絞られていて, 内容が充実している。</p> |
| L<br>日<br>本<br>文<br>教<br>出<br>版 | <p>・題材がバランスよく精選され, 表現と鑑賞が一体的に学習できるように, 題材のページにも鑑賞活動を促すような展開が掲載されている。</p> <p>・全ての題材が見開き2ページの同じレイアウトで掲載されており, 児童教師共に活用しやすくなっている。</p> | <p>・活動がイメージしやすい題材名であり, その上には活動の中身が簡単に表現されている。</p> <p>・学びに向かう力, 人間性の涵養につなげていくために, 活動を通して感じてほしいことを示している。</p>                          | <p>・学校や児童の実態に応じて活動の仕方を考えられるように「屋内/屋外」「自然材/身近材」「個人/協働」のように実践パターンが複数示されている。</p> <p>(1, 2年上P48, 49)</p> <p>・「資質・能力」の3つの柱に基づいた学習のめあてと, 活動の後の振り返りの視点が全ページに掲載されている。</p>   | <p>・造形遊びの題材では, 身の回りの自然や季節の変化に親しむ造形活動を通して, 自然の良さを体感できる活動が掲載されている。</p> <p>・島根の美術館関連, 鳥取の水木しげるのように山陰に関わるものが複数紹介してある。</p> <p>(5, 6年下P3, 19, 37)</p> | <p>・家庭や保護者と児童の学びを共有し, 学びを認め, 学びが生活に生かされるように写真や「保護者の方へ」で伝えている。</p> <p>(1, 2年上P40, 41)</p> <p>・2年生以上には「図画工作のつながりひろがり」のコーナーが設定されており, 自分の生き方を考えたり, 他者や地域との関わりを意識したりできるようにになっている。</p> <p>(P56, 57)</p> | <p>・他教科での学習を生かしたり, 関連づけたったりした題材や事例が多く掲載されている。</p> <p>・「つかってみよう材料と用具」の用具の使い方の説明が分かりやすい。</p>  | <p>・取り上げている題材数が豊富で, 造形, 立体, 絵, 工作, 鑑賞のバランスがよい。特に鑑賞教材が豊富なのが特徴的である。児童や学校の実態に応じて選択できる。</p> <p>・見開き2ページで1題材という全学年同じレイアウトで作られているので, 見やすい。</p>  |



選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 家庭)

No.1

| 記号         | 選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点  |   |   |   |   |   | 総 括  |
|------------|--|---|---|---|---|---|--|
|            | (1) 内容, 程度, 分量等  | (2) 教材の選択や構成等   | (3) 興味・関心への配慮等  | (4) 教科の特性, 島根県の<br>実態や課題への適合等   | (5) 発展的学習, 自学<br>自習についての工夫  | (6) その他   |  |
| A<br>東京書籍  | <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎基本の定着を図りやすいように, 大きな写真と図や文章を適切に組み合わせて, 実習・制作できるよう工夫されている。</li> <li>「いつも確かめよう」に, 家庭科の基礎的な技能をまとめ, 5年生で学んだ技能を6年生で再度使うことで, より確実な定着が図れるよう配慮されている。(p. 10, 52, 130~144)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>全ての大題材の学習の流れが3ステップで示され, 見通しを持って取り組むことができる構成になっている。</li> <li>「成長の記録」のページがあり, 学習して分かったことやできるようになったことを, 振り返って記録できる。また, 2年間の学習の成長が見つめやすくなっている。(p. 3)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動例が, 「考えよう」「話し合おう」「調べよう」などで示され, 学習のねらいや興味関心に応じて学習活動が選択できるよう工夫されている。(p. 7, 38, 80)</li> <li>4人の男女のキャラクターを使うことで, 学習内容を身近に感じることができるよう工夫されている。(p. 2)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>各題材の最初に「家庭科の窓」を示すことで, 学習指導要領で示された家庭科の見方・考え方の中で, 重視する項目がわかるよう工夫されている。(p. 6)</li> <li>「プロに聞く!」や「日本の伝統」のコーナーを設けることでより広い視野での見方・考え方ができるよう工夫されている。(p. 22, 48, 49, 57)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>各題材の終末に「深めよう」があり, 発展的な学習や, 実践への意欲が持てるように工夫されている。(p. 22, 38, 57, 72)</li> <li>「生活を変えるチャンス」のコーナーを設定し, 生活の課題を解決できるように工夫されている。(p. 31)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>A4版になっていることで, 写真やイラストが大きくなっており, わかりやすい。</li> <li>制作の方法や過程を映像で見ることができるデジタルコンテンツ(約13種類)が用意してある。(p. 5)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>すべての題材を「課題発見」「課題解決・実践活動」「評価・改善」の3ステップで構成し, 実生活でも役立つ問題解決的な思考ができるように工夫されている。</li> <li>「生活を変えるチャンス」や「プロに聞く!」などを設定し, 学んだ知識, 技能を活用し, 生活につながるように工夫されている。</li> </ul>   |
| C<br>開隆堂出版 | <ul style="list-style-type: none"> <li>制作例, 実習例が多数掲載され, さらに, 技能レベルを★の数で視覚的にとらえられるよう工夫されている。(p. 44~47, 115)</li> <li>技能をチェックする「できたかな」の項目が具体的で, 児童の実態に合っている。(p. 15, 41, 87)</li> <li>作業手順の写真の色合いや糸の細かな様子がわかりやすく, 児童が戸惑いがちな場面での支援になっている。(p. 22~23)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>内容を20の題材に細かく分けて配列しており, 単元ごとの学習内容が明確で, 振り返りやすくなっている。(p. 1, 2)</li> <li>題材のはじめに, 「学習のめあて」が提示され, それを単元の終わりに振り返ることができるように工夫されており, 学習の見通しが持ちやすい構成になっている。</li> <li>2年間の学習を振り返って, 中学校入学を目前とした時期に進学後の学習に生かせるような構成になっている。(p. 126, 127)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の内容に関するコンテンツでは, クイズなども提示され, 興味関心への配慮がある。(p. 3)</li> <li>プログラミングの考え方を生活に生かせるようにページが設定されている。(p. 128, 129)</li> <li>実習, 制作の流れが背景の色を変え横1列で提示され, 見やすいレイアウトになっており, 興味を持って学習を進めやすい配慮がなされている。(p. 52)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>クローバーのキャラクターとトランプのマークを使うことで, 家庭科の見方・考え方の4つの視点を意識できるように工夫されている。(p. 2, 17)</li> <li>伝統的な地域の料理として, しじみ汁(島根県)が紹介されていることで, 地域に目を向けることができるように工夫されている。(p. 57)</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>学習したことを家庭で実践できるように「チャレンジコーナー」を設けてある。(p. 37, 57, 75, 103, 119)</li> <li>消費活動の学習の際に, フローチャートを使って, 考えを整理する方法を提示し, 実生活で役立てやすいように工夫されている。(p. 30, 60)</li> <li>レッツトライでは, 問題解決学習が, 課題に沿ってできるようにステップを踏んで例示しており, 取り組みやすく配慮されている。(p. 76~79)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>QRマークがついており, 二次元コードを読み取ることで, 制作の方法や調理の過程を映像で見ることができる動画数(約30種類)が多い。(p. 3, 13)</li> <li>大切な言葉をはっきりと濃い太字にすることで, 重要であることを確認しやすいよう配慮されている。</li> <li>教科書サイズがコンパクトなため, 机においての作業が行いやすい。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>新学習指導要領の指導項目に沿って, 題材が構成されており, 児童が主体的・対話的で深い学びが実現できるよう工夫され, 優れている。</li> <li>「チャレンジコーナー」や「レッツトライ」のページを設定して, 学んだ知識や技能を活用し, 家庭で実践しやすい工夫がなされている。</li> <li>各題材の導入をフォトランゲージで行い興味関心を持たせたり, 調理や制作過程の手順などの写真を効果的に使ったりして, 児童の実態に合い, 取り組みやすく, 優れている。</li> </ul> |

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 保健 )

No.1

| 記号         | 選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点   |  |   |  |   |  | 総 括  |
|------------|---|--|---|--|---|--|--|
|            | (1) 内容, 程度, 分量等   | (2) 教材の選択や構成等  | (3) 興味・関心への配慮等  | (4) 教科の特性, 島根県の<br>実態や課題への適合等  | (5) 発展的学習, 自学<br>自習についての工夫  | (6) その他  |  |
| A<br>東京書籍  | <p>・各章のはじめに, その章での学習過程と目標が示され, 見通しをもって学習に取り組めるようになっている。</p> <p>・全体的に写真とイラストがバランスよく取り入れられている。</p>                  | <p>・「病気の予防」では, 虫歯や歯周病の起こり方の写真やイラストが掲載されたり, 喫煙者と非喫煙者の肺の写真が掲載されたりしており, 病気の予防への効果的な指導ができるよう工夫されている。(5・6年p. 60, 61, 65)</p>  | <p>・「体の成長とわたし」では, 1歳頃の靴や手の写真を掲載し, 成長を実感しやすいよう工夫されている。(3・4年p. 24, 25)</p> <p>・「育ちゆくわたしたちの体」では, 性の多様性について触れ, 一人一人が抱える悩みや課題について個別に相談できることが示されている。(3・4年p. 35)</p> | <p>・「病気の予防」では喫煙や飲酒, 薬物に加え, ゲームやインターネットの使用, ギャンブルなどの依存症について詳しく記述され, 依存症の理解がより深められるよう工夫されている。(5・6年p. 66)</p> <p>・地域の保健活動において, 身近な取り組みから取り上げ, 地域へと広げる工夫がされている。特に, 松江市における「がんの早期発見などのための検診」を紹介し, 地域の活動が実感できるように工夫されている。(5. 6年p. 75-77)</p> | <p>・章のはじめに「つなげよう」の表記があり, 家庭科や理科, 道徳等の関連を意識して学習が進められるよう工夫されている。</p> <p>・「心の発達」では, 緊張や不安, 悩みの対処法について呼吸法, ロールプレイングなど様々な資料や実習が掲載されており, 主体的な解決法が学べるように工夫されている。(5・6年p12-19)</p> | <p>・AEDを使用した救急法の流れが示され, AEDへの理解を促す工夫がされている。(5・6年p. 46)</p> <p>・検索資料を掲載し, より深く, 詳しく調べられる手立てが示されている。(5・6年)</p>           | <p>・自分の考えだけでなく, 友達の考えも書けるように構成されており, 話し合い活動を通して学習を深めることができるように工夫されている。</p> <p>・学習内容に応じて書き込み欄が十分確保されており, 思考力・判断力・表現力を育てながら効果的に指導ができるように工夫されている。</p>       |
| B<br>大日本図書 | <p>・見開き2ページで構成されており, 図や表を用いながら自分たちで調べることに工夫されている。</p> <p>・ほとんどの章で, 「もっと知りたいコーナー」を設け, 学習内容をさらに深く学べるように工夫されている。</p> | <p>・「心の健康」では, 不安や悩みについて具体例とその解決法について示したり, 相談窓口を示したりしながら, 自己解決ができるよう工夫されている。(5・6年p. 14, 15)</p> <p>・「病気の予防」では, 病気の起こり方を病原体, 体の抵抗力, 環境, 生活の仕方がかかわって起こるに区別され, わかりやすくまとめられている。</p> | <p>・「育ちゆく体とわたし」では, シールを使って自分の身長伸びをグラフで表すことで, 興味・関心が高められるように工夫されている。(3・4年p. 25)</p> <p>・章のはじめに登場人物をさがすコーナーを設けて, 興味を持ちながら学習を進められるよう工夫されている。</p>                 | <p>・「育ちゆく体とわたし」では, 子供の成長を祝う行事があることを紹介し, 自分を大切にすることが高められるように工夫されている。(3・4年p. 34)</p> <p>・「病気の予防」では, 新聞記事を示しながらあらゆる視点で健康について考えられるように工夫されている。</p>  | <p>・他教科や既習事項, 今後の学習との関連が図られるよう表示がされており, 横断的・発展的に学べるよう配慮されている。</p> <p>・それぞれの章の学習のまとめが, 自己評価できるようにしたり, 学んだことを活用したり深めたりできるように, 記述式になっている。</p>                                | <p>・家庭や地域で取り組むとよい活動に「おうちマーク」や「ちいきマーク」を付け, 学んだことを家庭や地域でも生かせるよう工夫されている。</p> <p>・巻頭の二次元コードから動画や資料を使い, 学習を深める工夫がされている。</p> | <p>・「育ちゆく体とわたし」では, シールを使って自分の身長伸びをグラフで表すことで, 興味・関心が高められるよう工夫されている。(3・4年p25)</p> <p>・それぞれの章の学習のまとめが, 自己評価できるようにしたり, 学んだことを活用したり深めたりできるように, 記述式になっている。</p> |

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 保健 )

No. 2

| 記号        | 選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点  |  |   |  |  |  | 総 括  |
|-----------|--|--|---|--|--|--|--|
|           | (1) 内容, 程度, 分量等  | (2) 教材の選択や構成等  | (3) 興味・関心への配慮等  | (4) 教科の特性, 島根県の<br>実態や課題への適合等  | (5) 発展的学習, 自学<br>自習についての工夫   | (6) その他  |  |
| M<br>文教社  | <p>・見開き2ページの中に, 写真や図, イラスト等が豊富に構成されている。</p> <p>・ほとんどの章の「ふり返ってみよう」の学習活動で, 書き込みをするようになっており自分のことと学習内容を照らし合わせられるよう工夫されている。</p> | <p>・「ふり返ってみよう」「考えてみよう」等の学習活動を設定し, 最後に「新しい自分からレベルアップ」でこれからの自分を高めていくのに大切なことを確かめられるよう工夫されている。</p>   | <p>・「体の発育・発達」では, 思春期の体の変化について着衣のまま示してあり, 児童の過度の反応を促さない配慮がされている。<br/>(3・4年p. 23)</p> <p>・達人やアスリートからのメッセージがあり児童がより興味や関心をもって学習できるように工夫されている。</p>             | <p>・「けがの防止」では, 自助・公助・共助を取り上げ, 社会福祉の観点から大事にされている連携の必要性が述べられている。<br/>(5・6年p. 28, 29)</p> <p>・学習内容に即したグラフや割合など具体的な数値を示すことで, 児童がより広く学べるよう工夫されている。</p>                                  | <p>・「体の発育・発達」では, 新体力テストの記録や合計点が発育や生活習慣と深いつながりがあることをグラフで示し, 関連が図れるよう配慮されている。<br/>(3・4年p. 19, 31)</p> <p>・「病気の予防」では, ノンアルコール飲料について触れ, 身近な疑問の解決と共に, ゲートウエイトドラッグへ結びつける工夫がなされている。<br/>(5・6年p. 47)</p> | <p>・単元末に自分の宣言を書く各ページが設けられており, 学習後の実践へ向けて意識できるよう配慮されている。</p>  | <p>・単元末の宣言のページでは, 記述例が示されており, 自分の考えを表現する手掛かりとなっている。</p> <p>・「けがの防止」では, 自助・公助・共助を取り上げ, 社会福祉の観点から大事にされている連携の必要性が述べられている。<br/>(5・6年p. 28, 29)</p>                                   |
| N<br>光文書院 | <p>・「つかむ」では基本的な学習内容が簡潔にまとめられており, 理解を助ける工夫がなされている。</p> <p>・「学んだことを生かそう伝えよう」では, 習得したことが活用できるように工夫されている。</p>                  | <p>・見開き2ページで, 学習の「はじめ」が示され, 「課題をつかむ」「学習活動」「学習のまとめ」最後に「自分の生活に生かす, 伝える」とわかりやすく構成され, 子どもたちが学習する手立てとして優れている。</p> <p>・「心の健康」では深呼吸の方法を提示し実際に体験することで, 心や体への変化を感じ取れるよう工夫されている。<br/>(5・6年p. 18)</p> | <p>・各章の最初に4コマ漫画を利用し, 学習の課題と見通しがもてるよう工夫されている。<br/>(5・6年p. 7)</p> <p>・巻頭ページに, これから始まる保健の学習の意義を伝えたり, トップアスリートからのメッセージを掲載したりして, 学習に対する児童の期待感を高める工夫がされている。</p> | <p>・「けんこうな生活」では, コミュニケーションについて触れ, よりよいコミュニケーションのとり方について事例を示しながら説明している。<br/>(5・6年p. 15)</p> <p>・犯罪被害としてネット被害について取り上げ, 注意を喚起すると共に, インターネットの犯罪被害に対する手段について紹介している。<br/>(5・6年p. 34)</p> | <p>・「さらに広げよう・深めよう」コーナーでは, 児童と関わりが深い内容を具体的に取り上げ, 発展的に学習できる点で, 特に優れている。</p> <p>・各ページの下欄には, 他教科との関わりや豆知識を掲載し, 児童がさらに学びを広げ, 深める手立てとなるよう工夫されている。</p>  | <p>・二次元コードが該当するページに掲載されることで, 検索が容易となり, 動画で実際の体の動き等を見ることで, より深く理解でき, 学びが広げられるという点で特に優れている。</p> <p>・章の終わりに学習のまとめのページを設け, 学習したことの確認と共に, 学習をふり返りながら今後の生活に生かしたいことを直接書込んで考えられるよう工夫されている。</p> | <p>・各章のはじめに4コマ漫画を掲載し, 学習への動機づけを図る工夫がされている。</p> <p>・1単元の学習の流れや1時間の学習の流れが, 文章やイラスト等の資料でわかりやすく示されている。</p> <p>・「さらに広げよう・深めよう」コーナーでは, 児童と関わりが深い内容を具体的に取り上げ, 発展的に学習できる点で, 特に優れている。</p> |

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 保健 )

No. 3

| 記号                                   | 選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点  |   |  |   |  |  | 総 括   |
|--------------------------------------|--|---|--|---|--|--|---|
|                                      | (1) 内容, 程度, 分量等  | (2) 教材の選択や構成等   | (3) 興味・関心への配慮等   | (4) 教科の特性, 島根県の<br>実態や課題への適合等   | (5) 発展的学習, 自学<br>自習についての工夫   | (6) その他  |   |
| 0<br>学<br>研<br>教<br>育<br>み<br>ら<br>い | <p>・見開き2ページで, 学習内容がわかりやすく構成されている。</p> <p>・普段の自分の生活をチェック項目でふり返ることで, 自分自身の生活のしかたと学習課題を関連付ける工夫がされている。<br/>(5・6年p. 40, 42)</p> | <p>・「つかむ」「考える/調べる」「まとめる・深める」という構成になっており, 考えたことを記述できるように工夫されている。</p> <p>・「友達と」マークなどを示し, 教え合う, 学び合う活動を随所に設け, 主体的・協働的に学ぶ態度が育成されるよう工夫されている。</p> | <p>・「もっと知りたい, 調べたい」のページを設け, 児童の興味・関心や学校の実態に応じて学習したことを広げたり深めたりできるような構成となっている。</p> | <p>・「心の健康」では, 悩みへの対処についての具体的な対処法を示すと共に, 住んでいる地域の相談窓口を調べて記入する欄が設けてあり, 児童が主体的に学ぶ態度が育成されるよう工夫されている。</p> <p>・「地域のさまざまな保健活動」では, 島根県教育委員会の相談窓口の開設についてパンフレットが紹介され, 島根県の活動に目を向けられるよう工夫されている。(5・6年p. 55)</p> | <p>・各教科や既習事項と関係する学習には「関連」マークが示し, 他学年・他教科との関連が図れるように工夫されている。</p> <p>・裏表紙の内側に健康を守る仕事を紹介されており, キャリア教育との関連が図れるよう工夫されている。<br/>(5・6年p. 57)</p> | <p>・「もっと知りたい, 調べたい」のページを設け, 児童の興味・関心や学校の実態に応じて学習したことを広げたり深めたりできるような工夫がされている。</p> <p>・「病気の予防」では, 様々な病原体が鮮明なカラー写真で掲載されている。<br/>(5・6年p. 35)</p> <p>・「かがくの目」として, 実験の場面や写真等の資料を通して, 深い学びへ結びつける工夫がされている。</p> | <p>・「友達と」, 「教え合う, 学び合う活動」マーク等を示し, 主体的・協働的に学ぶ態度が育成されるよう工夫されている。</p> <p>・普段の自分の生活をチェック項目でふり返ることで, 自分自身の生活のしかたと学習課題を関連付ける工夫がされている。<br/>(5・6年p. 40, 42)</p> |

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 英語 )

No.1

| 記号         | 選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点  |   |   |  |  |   | 総 括  |
|------------|--|---|---|--|--|---|--|
|            | (1) 内容, 程度, 分量等  | (2) 教材の選択や構成等   | (3) 興味・関心への配慮等  | (4) 教科の特性, 島根県の<br>実態や課題への適合等  | (5) 発展的学習, 自学<br>自習についての工夫   | (6) その他   |  |
| A<br>東京書籍  | <p>・5年生では「日本に暮らすわたしたち」をテーマに「自分・地域・日本」で,6年生では「世界に生きるわたしたち」をテーマに「世界の国々・世界と日本」と「中学校への扉」で学習内容が組織されており,発達段階に応じた広がりを考えて構成されている。</p> <p>・各学年とも8Unitで構成されており,96ページである。</p> | <p>・アウトプットの前には十分な音のインプットができるよう,繰り返し聞いて少しずつ発話するというスモールステップの構成が工夫されている。</p> <p>(5年p27-29)</p> <p>・各Unitとも見開き4パートの一貫した構成となっており,単元の構成がわかりやすいよう工夫されている。</p> <p>(5年p.26-33 6年p.22-29)</p> <p>・Let's Read and Writeのページもあるなど書き込みスペースがゆったり取ってあり,児童の学びが教科書に残るよう工夫されている。(6年p.86-89)</p> | <p>・各学年とも「学び方みいつけた」では,英語についての理解を深められるよう工夫されている。</p> <p>(5年p.8, 36, 64 6年p.4, 32, 62, 96)</p> <p>・Over the Horizonでは,世界の国々を身近に感じたり,日本の良さに気付いたりして,より深い学びができるよう工夫されている。</p> <p>・Enjoy Communicationでは,活動で使用する際の成果物の写真が示されており,児童が使いやすい方を想起しやすく意欲をもてるよう工夫されている。</p> <p>(5年p.22 6年p.26)</p> | <p>・Enjoy CommunicationやCheck Your Stepsでは,ふるさとメニューを紹介したり地域のおすすを紹介したり,日本のおすすを紹介したりと,自分たちの地域に目を向けられるよう工夫されている。</p> <p>(5年p.59, 63, 83)</p> <p>・Enjoy Communicationでは,Unitのゴールの姿が示されており,イメージしやすいように工夫されている。また,自分ができたかどうか評価できるよう工夫されている。</p> <p>(5年p.59 6年p.39)</p> | <p>・随所にQRコンテンツが配されており,自学自習もできるよう工夫されている。</p> <p>・おすすの歌や絵本を紹介してあり,発展的な学習につながるよう工夫されている。</p> <p>(6年p84-85)</p>   | <p>・食物連鎖や環境問題をとり上げ,理科や総合的な学習の時間と関連を図ることができるよう工夫されている。</p> <p>(6年p.42-49)</p> <p>・注目させたい文法に色付けがあり,文中での位置に意識が向くよう工夫されている。</p> <p>(6年p.68)</p> <p>・別冊がついており辞書の代わりに使うことができるよう工夫されている。</p> | <p>・各学年の各Unitとも出会う,慣れる,伝え合う,広げる,確かめる,という学習の流れが分かりやすい構成になっている。また,活動がスモールステップで示されており,そこで積み上げたものをコミュニケーション活動で生かすよう工夫がされている点が優れている。</p> <p>・Check Your Stepsでは,複数の単元での話題や表現を振り返り,それらを組み合わせる伝える力を確かめられるよう工夫されている。(5年p.34, 35, 6年p.30, 31)</p> |
| C<br>開隆堂出版 | <p>・総ページ数及び「Lesson」数は,5年119ページ,9 Lesson,6年127ページ,11 Lessonである。</p> <p>・表紙の次のページには,「CAN-DOマップ」があり,各Lessonでできるようになることが明示されており,学習の見通しが持てるように配慮されている。</p>              | <p>・各Lessonの初めの見開きページには,イラスト等で活動内容が分かりやすく示される工夫がされている。</p> <p>・各Lessonでは,文字に関する内容も明記されており,P81から「文字に慣れよう」としてワークシート形式のページが用意される工夫がされている。</p>  | <p>・旬の題材を取り上げるなどの工夫がされ児童の興味関心につなげる工夫がされている。</p> <p>(5年P48~Lesson6 My Hero)</p> <p>・各活動の中には,他教科との関連が分かるように明示される工夫がされている。</p> <p>・日本の文化や他国の文化について興味関心を持てるような工夫がされている。(5年P68~I love my town.6年P18~Welcome to Japan. P40~Lesson7 Watch the world.)</p>                                    | <p>・日本の文化や行事など,日本固有の単語にはルビを振るなど,外国籍児童への配慮がなされている。(6年P18,19)</p> <p>・「思い出絵本」や「感謝の手紙」を作成して,伝える活動では,既習表現を生かして伝えたい思いを主体的に表現できるように工夫されている。(6年P58, P78)</p>  | <p>・「Let's Listen」「Let's Chant」に対応したQRコードがページ上に提示されており,会話の聞き取りなどを自学で復習するのに配慮されている。</p> <p>・5年Lesson9「I love my town.」では,Lessonの最後にLet's Tryとして「自分の町のしようかい」をする活動があり,自分の町の名産品や名所の表現の仕方を学ぶ活動が含まれている点で工夫されている。</p> | <p>・文字についての学習が集められ,書く活動に丁寧に取り組める工夫がされている。(巻末)</p> <p>・書く活動を15分間のモジュール学習で展開できるよう工夫されている。</p>   | <p>・各学年とも主な登場人物が設定されており,各Lessonで登場して活動することで児童の興味関心が引きつけられるように工夫されている。(5年Lesson1, Lesson6)</p> <p>・單元ごとに振り返るページがあり,児童が自分の学びを確認しながら学習を進められるように工夫されている。(5年P11,6年11)</p>   |

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 英語 )

No.2

| 記号                    | 選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点  |   |  |  |   |  |  |
|-----------------------|--|---|--|--|---|--|--|
|                       | (1) 内容, 程度, 分量等  | (2) 教材の選択や構成等   | (3) 興味・関心への配慮等   | (4) 教科の特性, 島根県の<br>実態や課題への適合等  | (5) 発展的学習, 自学<br>自習についての工夫  | (6) その他  | 総 括  |
| D<br>学<br>校<br>図<br>書 | <p>・巻頭にクラスルームイングリッシュやアルファベットなど, 既習事項が分かりやすく示され, 学んだことを主体的に生かせるよう工夫されている。</p> <p>・各学年の教科書の総ページ数及び「Lesson」数は, 5年10Lesson 157ページ, 6年10Lesson 153ページである。</p> | <p>・各単元の最初のページは, 大きな見開きのイラストになっており, 様々な気付きや英語表現を児童から引き出せるよう工夫されている。</p> <p>・1レッスンの目標の明示と振り返りを自由に書く欄があり, 児童の主体的な学びを促すよう工夫されている。(5年 p.31)</p>   | <p>・Let's ListenとLet's chantには, 3つの分かりやすいイラストが描かれ, 推測しながら聞くことができ児童の聞くことへの理解を促す配慮がなされている。(5年 p.26)</p> <p>・「英語を聞きとろう・英語らしく話そう!」では, 日本語と英語の音声の違いや音の上げ下げを矢印で書き込む内容があり, 音への意識を高められるよう工夫されている。(5年 p.15)</p> | <p>・アルファベットや目標表現を書く活動では指でなぞる欄が設けられ, 聞くことから書くことへの小さなステップで学習が進められるよう工夫されている。(6年 p.33)</p> <p>・各レッスンの最後にUse&amp;Checkがあり, 4技能の定着を図り, 学びが深まるよう工夫されている。(5年 p.124)</p> | <p>・各レッスンの始めに歌があり, 中学校で学習する内容も含まれており, 中学校の学習につながるよう工夫されている。(5年 p.139-143, 6年 p.135-139)</p> <p>・各レッスンの最後にアルファベットコーナーとSounds&amp;Lettersがあり, アルファベットを確認したり, 文字と音とのつながりを意識したりできるよう工夫されている。(6年 p.90)</p> | <p>・身近な話題について習得した表現を用いて自ら発信する力を伸ばしているよう工夫されている。(5年 p.79, 137, 6年 p.77, 133)</p> <p>・前の学年で学習した内容がまとめられ「Pre-Lesson」で内容を振り返り, 確認できるよう工夫されている。(5年 p.17-20, 6年 p.10-16)</p> | <p>・各レッスンの始めの歌の歌詞一覧表や聞く回数をチェックするなど十分に英語の音声やリズムに慣れ親しめるよう工夫されている。(5年 p.24, 5年 p.139-143, 6年 p.135-139)</p> <p>・学習に関する情報を紹介する「コラム」が各レッスンにあり, 児童の言語や文化への興味・関心と国際感覚が高められるよう工夫されている。(5年 p.32, 6年 p.38)</p> |
| E<br>三<br>省<br>堂      | <p>・総ページ数及び「Lesson」数は, 5年128ページ, 7Lesson, 6年128ページ, 7Lessonである。</p> <p>・教科書の始めに, 「教室で使う英語」が紹介されており, 児童が英語に触れることができる内容になっている。(5年P12-14, 6年P12-13)</p>     | <p>・HOP, STEP, JUMPで構成されており, HOP, STEPで習得した内容を活用してJUMPで表現活動ができるように工夫されている。</p> <p>・JUMPにおいては, 活動の手順が見開きページに詳しく示されていて児童がなんのために活動するのか目的を明確に持ち, どのように表現活動を進めたらよいかわかりやすく示されている点工夫されている。</p> | <p>・小単元 (STEP) の最初の見開きページのイラストに英単語が記載されており, 児童の文字への関心を高める工夫がされている。(5年P16, 17)</p> <p>・Storyでは, 世界の話英語で聞く場面が設定されており, 児童が異文化や英語への興味関心を高める工夫がされている。(5年P19, p43, p79)</p>                                  | <p>・自分の身の回りのものや思いつく言葉を書き, 詩を作る活動により, 主体的で深い学びにつながるよう工夫されている。(6年P60, 61)</p> <p>・各学年の巻末に「○年生で学習した主な表現」が具体的に表示しており, 児童が身に付けた表現が振り返られるよう工夫されている。(5, 6年P128)</p>     | <p>・QRコードを使って英語の発音練習ができるなど, 自学につながる配慮がされている。(5年P41)</p> <p>・「実世界の英語」では, 教室の外で出会う実際の英語が紹介されており, 総合的な学習や国語, 社会科など他教科とつながる工夫がされている。</p>  | <p>・5年のLesson1, 2でアルファベットの文字と音に触れる活動を行い, その後は, Lessonの終わりで「書くこと」を含むまとめの活動がされよう工夫されている。</p> <p>・時差について学べるようになっている。(5年 p60)</p>  | <p>・3学期制に対応しており, 学期ごとに大単元に分かれて, 児童が自分の思いをダイナミックに表現できるように工夫されている。</p> <p>・児童が主体的に英語表現を使って活動するための単元構成や活動が工夫されている。(5年36, 37 6年P98, 99)</p>  |

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 英語 )

No. 3

| 記号                              | 選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点   |  |  |   |   |   | 総 括  |
|---------------------------------|---|--|--|---|---|---|--|
|                                 | (1) 内容, 程度, 分量等   | (2) 教材の選択や構成等  | (3) 興味・関心への配慮等   | (4) 教科の特性, 島根県の<br>実態や課題への適合等   | (5) 発展的学習, 自学<br>自習についての工夫  | (6) その他   |  |
| F<br>教育<br>出版                   | <p>・ 現行の外国語教材を基にした語彙, 表現, 文構造で同じ9単元, 同じ流れで移行期からスムーズに児童が教科化に慣れるような工夫がされている。<br/>(5年p. 14-23)</p> <p>・ 各学年の教科書の総ページ数及び「Lesson」数は5年 9Lesson 118ページ 6年 9Lesson 112ページである。</p>               | <p>・ 各Lessonは4つの活動で構成されている。また児童のめあての明示と3つの観点にそった振り返り表があり主体的な学びにつながるよう工夫されている。<br/>・ 「することができる」という内容を動物の写真を通して考える工夫がされており, 児童にとって分かりやすく考えやすいような構成になっている。<br/>(5年p. 59)</p>  | <p>・ 写真が多く使われ, 児童が実物をイメージして英語表現に触れる工夫がされている。<br/>(5年p. 16, p. 21)</p> <p>・ シールを使ってメニューを作成する活動があり, 児童が興味・関心をもって取り組めるよう工夫されている。<br/>(5年p. 84)</p>  | <p>・ 友達との関わりを大事にしながら行う活動により, 対話的で深い学びにつながるよう工夫されている。(5年 p. 56-65, 6年 p. 86-93)</p> <p>・ 聞き手の具体例を示し, よりよい対話を行えるよう配慮されている。(6年 p. 89)</p> <p>・ 自分の住む地域や日本の良いところを紹介する活動などは自己表現の意欲を高められるよう工夫されている。<br/>(6年 p. 28, 38)</p>                          | <p>・ 「知らない言葉を調べてみよう」では, 和英辞典の使い方が紹介されており, 発展的な学習につながるよう工夫されている。<br/>(6年 p. 105)</p> <p>・ 小学校で学んだことのまとめとしてのMy Book作成は中学校での学習への接続を意識できるよう工夫されている。(6年 p. 101)</p>  | <p>・ 日本の名所, 名物を示すための地図が折り込みで入っており, 見やすいよう工夫されている。<br/>(5年 p. 72-75)</p> <p>・ 道徳や国語で扱った教材を素材にし, 読むことと書くことへの負担感を軽減し, 達成感を感じられるよう工夫されている。(5年 p. 90, 6年 p. 82)</p>          | <p>・ 巻末に豊富にワークシートが付けられており, それを使用することで, 児童が自分の学びを実感でき, 達成感と表現意欲を高められるよう工夫されている。<br/>(5, 6年巻末)</p> <p>・ 各単元末にはSounds and Lettersが設定されており, 音声と文字への気付きを促す学習が行えるよう工夫されている。<br/>(5年 p. 54-55 6年 p. 20-21)</p>  |
| I<br>光<br>村<br>図<br>書<br>出<br>版 | <p>・ Hop, Step, Jumpという段階を踏んだ各Unitの学習で共通した構成になっており基礎的な知識・技能の習得と活用から思考力・判断力・表現力を養う言語活動へとなっており, 学習の手順がわかりやすく工夫されている。<br/>・ 各学年とも9つのUnitで構成されており, ページ数は, 5年生は140ページ, 6年生は144ページになっている。</p> | <p>・ 各Unitの初めには単元でできるようになることをゴールとして, またそこに向かうために行うことも具体的に示されており, 見通しがもてるよう工夫されている。<br/>(5年p. 20, 21 6年p. 18, 19)</p> <p>・ 5年生の前半に「Alphabet Time」を設定し, 文字学習がスモールステップで丁寧に行えるよう工夫されている。<br/>(5年p. 28, 29, 38, 39, 48, 49)</p> | <p>・ 各Unitの「ふりかえろう」では, CAN-DO, 考える, 深める, の3つの観点で振り返りができるようにになっており, シールを貼って自己評価できるよう工夫されている。<br/>(5年 p. 37 6年 p. 25)</p> <p>・ Unitの初めは, 見開きページを大きく使った児童に親しみやすいイラストで描かれ, 場面の様子日本語の説明もあり, 興味・関心を高める工夫がなされている。<br/>(5年p. 20, 21 6年p. 18, 19)</p> | <p>・ Fun Timeでは「文字遊び」「英語の歌」「英語の物語」「やってみよう」を位置づけており, 楽しみながらアルファベットに慣れたり, 英語の響きを味わったりできるよう工夫されている。<br/>(5年p. 60, 61 6年p. 26, 27)</p> <p>・ You can do it!では日本の行事や自分たちの町のよいところを紹介するパンフレット作りが設定されており, 自分の町のよさに気づけるよう工夫されている。<br/>(6年p. 35, 77)</p> | <p>・ 随所に英語表現への気づきを促す「一言フレーズ」や, アクセントやストレスなど発音の際のワンポイントを記したアドバイス「発音」が示されており, 学びを振り返ったり確認したりできるよう配慮されている。<br/>(5年p. 20, 22 6年p. 28, 30)</p> <p>・ 各ページには, 数字の横に英語表記が書かれていたり, そのページで使う語句の絵辞典のページが記されていたり, 自分で学ぶ際の工夫がなされている。</p> | <p>・ 巻末にホワイトボード形式のペンマンシップ・シートがつけられており, 文字を何度も書いて練習できるよう工夫されている。<br/>・ 「世界の友達」では, 世界の小学生12人がその生活や, コラムと共に紹介されており, 異文化理解につながるよう工夫されている。<br/>(5年p. 50, 51 6年p. 48, 49)</p> | <p>・ 各UnitにはResponseコーナーが, 各学年で「言葉について考えよう」が設定されており, 言葉を大切にし, 相手意識を育む工夫がなされている。<br/>(5年 p. 11, 25, 92, 93 6年 p. 11, 90, 91)</p> <p>・ 各Unitの初めにはこの単元でできるようになることをゴールとして, またそこに向かうために行うことも具体的に示されており, 見通しがもてるよう工夫されている点が優れている。<br/>(5年 p. 20, 21 6年p. 18, 19)</p> |

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 英語 )

No. 4

| 記号                                | 選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点  |  |  |  |   |   | 総 括  |
|-----------------------------------|--|--|--|--|---|---|--|
|                                   | (1) 内容, 程度, 分量等  | (2) 教材の選択や構成等  | (3) 興味・関心への配慮等   | (4) 教科の特性, 島根県の<br>実態や課題への適合等  | (5) 発展的学習, 自学<br>自習についての工夫  | (6) その他   |  |
| K<br>新興<br>出版<br>社<br>啓<br>林<br>館 | <p>・活動が精選されており, 1時間で指導する内容も余裕をもって扱える分量になっている。</p> <p>・各学年とも8つのUnitで構成されており, ページ数は, 5年生は120ページ, 6年生は120ページになっている。</p> | <p>・地域にあるもの→あったらよいものを選びその理由→地域にあるもの, できることと地域にあったらよいものとその理由→地域の良さと理想と, 聞いたり書いたりする内容もモールステップで進んでいくよう構成が工夫されている。</p> <p>(6年p. 33-37)</p> <p>・習得したことをどのように活用すればよいか, 具体的な場面が示されており主体的な学びとなるよう工夫されている。</p> <p>(5年. p73 6年p. 41)</p> | <p>・学習後の振り返りLooking Backでは, 「できた」ことだけでなく, 「言いたいけど言えなかった」「もっと知りたい」「どんな場面で使いたいか」といった項目があり, 関心を高めるよう工夫されている。</p> <p>(5年p. 38 6年p. 18)</p> <p>・物語の登場人物やご当地キャラクターを使い, 児童の興味関心を高める工夫がされている。</p> <p>(6年p. 15, 16)</p> | <p>・Chantでは発音のアクセントを赤く記したり, Say and Writeでは単語と単語の間のスペースを記したり, 話したり書いたりする際に気を付けるポイントが見えるように工夫されている。</p> <p>(6年p. 12, 13)</p> <p>・Listen and Guessでは, 場面と何に気を付けて聞けばよいか示されており, 興味を高める工夫がされている。</p> <p>(5年p. 10, 11 6年p. 30, 31)</p> | <p>・REVIEWの(思)では, 既習の表現を, 場面や状況を変えて使用できるかを問い確認できるよう工夫されている。</p> <p>CHALLENGEでは, ポスターや掲示板を見ながら質問に答えるという実際の場面を取り上げ, 必要な情報を得る活動が工夫されている。</p> <p>(5年. p73 6年p. 41)</p> <p>・各ページには, 数字の横に英語表記が記されており, 文字とのつながりを意識できるよう工夫されている。</p> | <p>・家での仕事のアンケートを扱うなど, 自分の生活を考えられるよう工夫されている。</p> <p>(5年p. 35)</p> <p>・Let's Read and Writeで, 文字を書く活動について丁寧に取り組んでいけるよう工夫されている。</p> <p>(5年p. 19 6年p. 19)</p> <p>・単元のゴールや本時のめあての表示が少し小さくてわかりにくく, 工夫が望まれる。</p> | <p>・活動が精選されており, 1時間で指導する内容も余裕をもって扱える分量になっている。</p> <p>・習得したことをどのように活用すればよいか, 具体的な場面が示されており主体的な学びとなるよう工夫されている。</p> |



選 定 に 必 要 な 資 料

(種目 特別の教科 道徳 )

No.1

| 記号        | 選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点  |  |  |   |  |   | 総 括   |
|-----------|--|--|--|---|--|---|---|
|           | (1) 内容, 程度, 分量等  | (2) 教材の選択や構成等  | (3) 興味・関心への配慮等   | (4) 教科の特性, 島根県の<br>実態や課題への適合等   | (5) 発展的学習, 自学<br>自習についての工夫   | (6) その他   |   |
| A<br>東京書籍 | <p>・スタートカリキュラムに丁寧に対応し, 幼児期の教育との接続に配慮されている。</p> <p>・巻頭に道徳の学習の進め方や話し合いの約束, みんなで考えることのよさなどが説明されており年度初めの道徳開きに活用できる。</p> <p>・低学年は挿絵を主とした短い文章, 高学年では読み応えのある長文の読み物教材を掲載し学年に応じて分量が工夫され登場人物の心情に迫ることができるよう配慮されている。</p> | <p>・右ページから始まる見開きで読みやすい構成になっている。</p> <p>・教材ごとに, 学習のテーマが明示されている。教材のタイトルに学習指導要領の4つの視点がマークとして表記され, 児童にも分かりやすいように工夫されている。また, 1年間学ぶ内容がまとめてはじめてのページに載せてあり, 1年間見通しをもって学習に臨めるよう工夫されている。</p> | <p>・オリンピック・パラリンピックへの関心を高める教材が取り上げられている。</p> <p>・3～6年には「考えるステップ」を設け, 問題解決的な学習を取り入れ, 児童が主体的に判断し, 意欲的に行動できるように工夫されている。</p> <p>・みんなであうたおう最後のページに各学年の発達段階に即した歌を掲載されており, 幅広い手法で道徳学習を進められるように配慮されている。</p> | <p>・6年「愛華さんからのメッセージ」は坪田愛華さんの書いた本が教材化され身近な存在として興味・関心をもって学習に向かうことができる。</p> <p>・全学年に「いじめのない世界へ」を掲載し複数時間にわたり, いじめについて深く考えることができるよう工夫されている。</p> <p>・身近に起こりやすいネットトラブルを題材にして, 情報モラルについて考えることができるようにしている。</p> | <p>・「つながる・広がる」では, 各教科との関連を明示し, その後の学習や生活にも生かしていけるよう工夫されている。</p> <p>・児童の実態や体験活動に合わせ, 指導内容と指導時期を考慮して教材が配列され, 効果的な学習ができるように工夫されている。</p>               | <p>・性別や人種などの人権に偏りのないイラストへの配慮がされている。</p> <p>・人との関わりの中で考えることができる活動ページ「出会う・ふれ合う」を全学年に2カ所ずつ取り上げてあり, コミュニケーション活動を通して心の交流が図れるよう工夫されている。</p> | <p>・各学年で「出会うふれ合う」の活動を設定し, 自分の行動を見つめ直し, よりよい行動を考える学習が組み込まれている。</p> <p>・考えることが楽しくなるような教材を取り上げ, 様々な活動の中で議論したり多様な考えをもったりできるよう工夫されている。</p>         |
| D<br>学校図書 | <p>・道徳的価値や課題と出会う「きづき」と, よりよいあり方を考え, 議論し深め合う「まなび」の2冊から構成されている。また, 「きづき」には内容項目別教材一覧が巻末に示してあり, カリキュラムマネジメントの観点で道徳教育を進めていく上で活用しやすくなっている。「まなび」の巻末には保護者にむけて当該学年で目指す道徳の目標を示してあり, 家庭と連携して育てるために効果的である。</p>           | <p>・全学年で巻頭には, 「はじめのいっぽ」として学級活動が示されている。学級開きの一助とすることができ, 学級づくりからスタートできる構成となっている。</p> <p>・いじめ問題について学級づくりの理論に基づき, 4月, 6月, 11月を柱として年間を通して繰り返し学べるよう教材が配置されている。</p>                       | <p>・全体的に挿絵や写真が大きく掲載されており, 興味・関心をもって学習できるよう工夫してある。</p> <p>・児童の生活や学習に身近な情報モラル, スポーツに関する教材, 国際理解教育, 持続可能な発展等現代的課題に関する教材が取り上げられている。</p>  | <p>・6年p88「おばあさんの新聞」では, 島根に縁のある岩国哲人さんの幼少期を題材にされていたり, 4年p114「心を結ぶランナー」では, 出雲市で開催されたマラソン大会を題材にされていたりすることで, 島根と関連づけて学習ができるよう配慮してある。</p> <p>・6年p134「平和への祈りを舞踊に込めて」では, 中国地方にゆかりのある教材が取り上げられている。</p>         | <p>・新聞記事や実際の出来事, 実際の学校生活で起こりうる状況など漫画や写真, 大きなイラスト, グラフなど様々な方法で教材化し, 工夫され掲載されている。</p> <p>・「ジェンダー」「LGBT」教育を取り上げるなど, それぞれの個性を認め合う意識を高めるように工夫されている。</p> | <p>・QRコードを示してあり, 授業の助けになる関連情報や補助教材が手軽に入手できるように工夫されている。</p> <p>・誰にとっても使いやすい教科書になるよう, フォントを工夫したり, ユニバーサルデザインを取り入れたりしている。</p>            | <p>・道徳的価値や課題と出会う「きづき」と, よりよいあり方を考え, 議論し, 深め合う「まなび」の2冊から構成されており, 学びを自己につなげられるよう工夫されている。</p> <p>・学級経営の視点を取り入れ, 「学級づくり」の理論に基づいた教材配列が工夫されている。</p> |

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目 特別の教科 道徳 )

No. 2

| 記号          | 選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点   |   |   |   |   |   | 総 括   |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|
|             | (1) 内容, 程度, 分量等   | (2) 教材の選択や構成等   | (3) 興味・関心への配慮等  | (4) 教科の特性, 島根県の実態や課題への適合等   | (5) 発展的学習, 自学自習についての工夫  | (6) その他   |   |
| F<br>教育出版   | <p>・本教材30本で全ての内容項目がおさえられるよう構成されており, 学校の実態に合わせた年間指導計画を作成しやすいよう配慮されている。また, 他教科との連携の中でより深い学びができるようにしてある。</p> <p>・1教材あたりの文章量を少なくし, どの児童も負担なく読めるよう配慮されている。</p> | <p>・内容項目ごとに教材がまとめて配置してあり, 関連づけて考えることができるようにしてある。また, 「拡大導入」の配置により, 学習のねらいを明確に把握し, 問題解決的な学習展開ができるようになっていいる。</p>   | <p>・歴史や文化, スポーツなど様々な分野で輝かしい業績を築いた人々を取り上げることで児童はあこがれと共感を抱き, 自己の生き方について考えを深めていけるよう工夫されている。</p> <p>・各学年の巻頭に「道徳開き」のページ, 巻末には学習を振り返るページが配置してあり1年間を見通し自らの成長や変容を感じ取り, 次の学年につなげる工夫がしてある。家庭との連携も図れるようになっている。</p> | <p>・教材文の途中で「やってみよう」が設けられており, 役割演技や日常体験を想起して話し合う活動が取り入れることで, 道徳的行為に関する体験的な学習に適した教材になっている。「だまっていればわからない」(4年 p 70)</p> <p>・1年生から世界各地の教材が取り上げられており, 国際理解教育と関連させ, 児童が世界にも目を向けられるよう配慮されている。「せかいのあいさつ」(1年 p 110)</p> | <p>・他教科, 特別活動, 学校行事, 年中行事などと関連を図った教材配列がされている。「成長かいだん」(2年 p 108)<br/>「新幹線開発物語」(5年 p 50)<br/>「自動車への限らない夢」「日本を守るために～江戸城無血開城」(6年 p 71)</p>              | <p>・低学年では動物を登場人物とした物語教材, 中学年では児童の生活場面を題材にして考えや行動について考えさせる教材, 高学年では人物の生き方について考えを深めさせる教材を多く取り入れ児童の発達段階に合わせて題材が構成されている。</p>      | <p>・モラルスキルトレーニングを取り入れ教材文の途中で「やってみよう」を設けることで, 役割演技や日常体験を想起して話し合う活動が行えるように工夫されており, 体験的な学習に適した教材になっている。</p> <p>・本教材30本で構成されており, 児童や学校及び地域の実態に合わせた年間指導計画を作成しやすいよう配慮されている。</p> |
| I<br>光村図書出版 | <p>・等身大の児童が登場する読み物, 伝記等で知られる先人, 現在活躍する人物の子どもの頃の葛藤など教材がバランスよく配置されるよう工夫されている。</p> <p>・B5変形版が用いられコンパクトでありながら, ゆったりとした見やすい紙面になっている。</p>                       | <p>・一年間を3つのまとまりに分け, まとまりごとにA・B・Cのいずれかの視点に重点を置き, 教材配列を行える点が優れている。Dの視点は, 年間を通してバランスよく配置されている点が特に優れている。</p> <p>・いじめ問題・情報モラル等現代的な課題の取り扱い「よびかけ・教材・コラム」のユニットで構成されておりじっくり向き合えるよう工夫されている。</p> | <p>・導入や終末で, キャラクターの呼びかけにより, 児童が楽しく教材に興味をもって向かったり, 学習したことを次の行動につなげるヒントを知ったりすることができるように工夫されている。</p> <p>・迫力ある写真や漫画形式, 見開きの1枚絵や複数の資料を併用して考えるものなどを印象的に掲載し, 児童の興味・関心を引く点が優れている。</p>                           | <p>・「ありがとうがいっぱい」(1年 p 68)「土曜日の学校」(4年 p 13)など, 島根県が取り組んでいるふるまい推進事業と関わりのある内容が扱われている。</p> <p>・いじめ問題や情報モラルなどの現代的な課題を, ユニットで取り上げ, じっくり向き合えるようにしている。</p>  | <p>・学習の手びきの「つなげよう」には, 他教科の学習内容, 特別活動や学校行事などとの関連付けが示されており, 他教科や日常生活につながるよう配慮されている。</p> <p>「曲げわっぱ」(5年 p 124 国語)<br/>「働くってどういうこと」(6年 p 142 キャリア教育)</p> | <p>・3つのまとまりごとに学びの記録のページがあり, 感想や考えたことを毎時間記録していく(低学年はマークを塗る)ことで, 児童が自分の成長を自覚することができるよう工夫されている。</p> <p>・行頭に助詞が来ないように配慮されている。</p> | <p>・導入のヒントが明記されていることで何について考えるのかをつかませ, 教材の終末のてびきでは対話を通して深い学びになるような問いが示されている。さらに, 授業で考えたことを実生活やこれからの自分の行動などにつなげていける点が優れている。</p>   |

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目 特別の教科 道徳 )

No.3

| 記号                              | 選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点   |  |  |  |   |   | 総 括  |
|---------------------------------|---|--|--|--|---|---|--|
|                                 | (1) 内容, 程度, 分量等   | (2) 教材の選択や構成等  | (3) 興味・関心への配慮等   | (4) 教科の特性, 島根県の<br>実態や課題への適合等  | (5) 発展的学習, 自学<br>自習についての工夫  | (6) その他   |  |
| L<br>日<br>本<br>文<br>教<br>出<br>版 | <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年35(1年34)の主教材に内容項目がおさえられ, 3教材を付録として収めてあり各校の実態に合わせて教材選択をする幅が広げられよう配慮されている。</li> <li>小1プロブレム解消の具体策としてイラストや写真, カルタ風に提示し, 児童が負担なく楽しく取り組めるよう配慮されている。</li> <li>主題名を最初に明示することで道徳的価値への方向付けをする工夫がされている。</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「学習の手引き」や「心のベンチ」として体験的に学べるように活動を示し, 児童が演技したりグループで対話したりすることで, より実感をもって学べるよう工夫してある。</li> <li>いじめに関する資料の内容は直接的な内容が多く, 児童にとって身近に起こりうる設定であるため, 児童が自分事として考えられるよう工夫されている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>文学作品, スポーツ選手, 芸術家など多岐にわたる主題が教材として取り上げられている。また, 児童にとって身近な生活場面が教材として取り上げられており, 児童の興味・関心を引き出すよう工夫されている。</li> <li>6年p44「東京オリンピック」では, 2020年の東京オリンピックと関連し, 自国の誇りや他国との互いの尊重について児童が関心高く学べる教材である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>情報モラル, 防災・防犯・交通安全, 平和・人権教育, 社会の持続可能な発展等, 現代的・社会的課題に対応できる教材が取り上げられている。</li> <li>年間3回の「いじめ防止」ユニットを設けている。いじめを直接的, 間接的に扱う教材, いじめ防止に関するコラムの3つを組み合わせることで, 多様な切り口から「いじめ防止」について考えられるよう配慮されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>生活目標や, 学校行事, 他教科等の学習内容, 伝統的な行事の実施時期などとの関係を考慮して教材配列が工夫されている。</li> <li>5年p68「和太鼓調べ」では, 伝統や文化について見つめるだけでなく, 国語科の説明文の読み取りや調べ学習と関連した内容となっている。</li> <li>巻末に, 学習内容一覧, 他教科との関連, テーマが一覧に掲載されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>別冊「道徳ノート」には, 教材ごとに自分の考えだけでなく, 友だちの考えや授業のまとめなどを書くことができるようになっており, 充実した言語活動を図ることができるように工夫されている。</li> <li>目次と各教材の初めにパソコンマークがあるものはインターネットで資料を手軽に検索できる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な現代的・社会的課題を考えることができるような教材が取り上げられている。</li> <li>考えを引き出す3つの発問が教材の中に明記されており, 学びの流れが見えるような配慮がされている。</li> </ul>   |
| N<br>光<br>文<br>書<br>院           | <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年35点(1年は34点)の教材のほか, 付録として5~6点, 計40点の教材が収められており, 児童や学校, 地域の実態に応じて無理なく発展的な指導が行えるように配慮されている。</li> <li>いじめや防災, 情報など, 現代的な問題について学ぶ教材が各学年に10以上掲載されている。</li> <li>重点主題教材が巻末の表に示されており関連させたり複数時間に学習させたりすることで学びがより深まるような指導計画を立てるよう工夫されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年に重点主題が設定してあり, 連続した資料配置によって集中して学習が進められるように配慮されている点において優れている。</li> <li>「ことばのたからもの」を各学年で特化して掲載してあり, ことわざや名言など発達段階に応じた心を耕す工夫がされている。</li> <li>児童に寄り添うようなキャラクターを設定し, 各教材の下部で吹き出しによって「投げかけ」を行うことによって, 多様な感じ方や考え方に気づいたり, 考えを広げたりできる点が工夫されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>人物を学ぶ教材では1年「やなせたかし」2年「さかなクン」3年「内村航平」4年「アルフレッド・ノーベル」5年「浅田真央」6年「三浦雄一郎」等児童にとって身近で共感をよぶ教材が取り上げられている。</li> <li>児童に親しみのある漫画をもとに考える教材を取り入れ, 児童の意欲を喚起するよう工夫されている。</li> </ul>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>5年「シンボルマークにこめられたものは」島根県県章を題材にした地域教材を取り上げ, 児童にとって身近なものから郷土を愛する心を育てるよう配慮されている。</li> <li>情報モラルについて資料が各学年に設定され, 低学年ではPCを使うマナーについて, 中学年では更に注意点や危険性といった内容について系統的に学習できるように配慮されている。</li> </ul>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>「鑑真和上」(6年P70)「誠実な人—吉田松陰—」(6年P120)など社会科の歴史学習と関連づけて学べるよう工夫されている。</li> <li>「海を耕す人たち」(5年p64)では社会科の水産業の学習と関連がある。</li> <li>「コラム」が, 各学年2~5つ掲載されており, 他教科とつなげて効果的に学習できるよう工夫されている。</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>教材の題名を記載するとともに教材を通して考えたいことを示し問いかけることで考える視点を与える工夫がされている。</li> <li>多くの教材が右ページから始まる見開き4ページに収められているため, 読みやすく分かりやすい構成になっている。</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>1時間の学習が問いをもつ→考える→まとめる→広げるで構成されており, 児童が見通しをもって学習を進めたり, 考えの深まりや心の変容を実感したりすることができる点が配慮されている。</li> <li>巻末に「学びの足あと」が設けてあり低学年では顔のイラスト, 中高学年で心の矢印で表現されるようになっており, 児童は自分の成長を実感し, 教師は児童の変容を見取ることができるよう工夫されている。</li> </ul> |

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目 特別の教科 道徳 )

No.4

| 記号                                   | 選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点   |  |  |   |   | 総 括   |   |
|--------------------------------------|---|--|--|---|---|---|---|
|                                      | (1) 内容, 程度, 分量等   | (2) 教材の選択や構成等  | (3) 興味・関心への配慮等   | (4) 教科の特性, 島根県の<br>実態や課題への適合等   | (5) 発展的学習, 自学<br>自習についての工夫  |   | (6) その他   |
| ○<br>学<br>研<br>教<br>育<br>み<br>ら<br>い | <p>・学年間で取り上げられている内容項目の数のバランスが取れている。(「善悪の判断」「親切, 思いやり」「生命の尊さ」は各学年3時間ずつ配置)</p> <p>・「いのちの教育」では, 全学年で「生命の尊さ」の教材を3つ掲載している。</p> <p>・道徳教育の4つの視点を色分けして題材の右上に色帯で明示することでユニット教材として指導計画に生かせるようになっている。</p> | <p>・主題を記載しないことで, 児童自らが課題を見つけられるように工夫されている。</p> <p>・教材文の終わりに, 「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」「広げよう」の4種類の学び方の特設ページが設けられ, 自分自身のこととしてとらえさせたり, 多角的に考えさせたり, 考える視点を増やしたりできるよう工夫されている。</p> <p>・児童が集中して向き合えるように教材は見開きで始まるよう配慮されている。</p> | <p>・A4版の紙面に写真, イラスト漫画など豊かなビジュアルを使って表現されており, 児童が教材へ興味・関心が持ちやすいよう工夫されている。「みんなあかちゃんだったよ」(1年 p 36)</p> <p>・各学年に近年のオリンピックで金メダルを獲得した選手を題材化し, 児童が興味・関心をもって読み進めることができるように工夫されている。「レスリングの女王吉田沙保里」(4年 p 10)「世界に羽ばたく航平ノート」(5年 p 102) など</p> | <p>・“いのち”を全学年の重点テーマとし複数の内容項目で複数時間使って考えを深めているように設定されている。</p> <p>・いじめを生まない力を引き出すよう, いじめ防止につながる教材群を設け, より深く考えられるよう配慮されている。</p> <p>・1年「錦織圭」2年「野口英世」6年「野口健」など, 様々な分野の人物の生き方を学ばせることにより, 世界に挑戦しようとする意志を育む島根の教育につながる。</p> | <p>・各学年に各教科等での道徳性の育成につながる教材を用意し, 関連を考慮しながら年間指導計画を作成できるように工夫されている。「ともくんの字」(1年 p 104 国語)「しんぱんはじぶんたちで」(3年 p 44 体育)「アルソミトラの空」(5年 p 160 理科) など</p>   | <p>・巻頭に今の自分のことを書き留めるページがあり, 1年の始めに自分を見つめ, 巻末にある「心の宝物」で1年の学びをふり返り, 自分の成長を感じることができるよう工夫されている。</p>   | <p>・主題を記載しないことで, 児童自らが課題を見つけられるように工夫されている。</p> <p>・巻頭に今の自分のことを書き留めるページがあり, 1年の始めに自分を見つめ, 巻末にある「心の宝物」で1年の学びをふり返り, 自分の成長を感じることができるよう工夫されている。</p>  |
| P<br>廣<br>濟<br>堂<br>あ<br>か<br>つ<br>き | <p>・全学年に, 「命の教育」の特別ページを設け命の尊厳について考えられるようにしている。</p> <p>・教科書が2冊で構成されており, 本冊はみんなで考え話し合い, 別冊「道徳ノート」で自分を見つめ考えることで, 豊かな自己の形成が達成できるようになっている。</p>   | <p>・「学習の道すじ」を手がかりとして活発な話し合い活動や, 多面的・多角的な道徳的思考を促し, 自己の生き方について考えを深める学習ができるよう工夫されている。</p>   | <p>・先人の伝記や現在も活躍する様々なジャンルの著名人, スポーツ選手等を扱った教材を多数掲載し, 彼らの夢や目標, 努力や苦悩, 幼少期の体験などから児童が人物を身近に感じ, 人間として生きることの素晴らしさを感じ取れるよう配慮されている。6年「心は変わる」松岡修造・錦織圭2年「自分できめたことだから」福原愛など</p>  | <p>・読み物教材では, 問題解決場面である結末まであえて載せないことによって, 児童が問題を見つけて主体的に話し合ったり自分事としてとらえたりできる「問題解決的な学習を促す教材」を多く掲載している。</p> <p>・6年 p 12「心は変わる」では, 松岡修造選手と共に, 島根のエース錦織圭選手を題材としていて, 個性の伸長について考えられるよう取り扱われている。</p>                      | <p>・別冊「道徳ノート」への記述を通して, 道徳科における言語活動の充実が行えるよう配慮されている。</p> <p>・教師や保護者が児童の記述を確認することができるチェック欄を設けることで, 学校と家庭が連携して児童の成長を見守り, 励ましていくことができるよう工夫されている。</p> <p>・別冊5年, 別冊6年では, 自分の夢や目標を記述する書き込み欄を設け, 体験活動やキャリア教育との関連を図ることができるよう工夫されている。</p> | <p>・問題解決的な学習や体験的な学習を促す教材を多く掲載し, 道徳的価値のよさを理解したり, より深く考えたりすることができるよう工夫されている。</p> <p>・「善悪の判断, 自律, 自由と責任」「親切, 思いやり」「生命の尊さ」を3つの重点内容とし, いじめ防止や命の教育を全学年で学ぶことができるよう工夫されている。</p> | <p>・別冊ノートは道徳教育の4つの視点の中でも, 類似する題材ごとにまとめてページを設定してあるため, 答えが一つではない道徳的課題に向き合えるよう工夫されている。また年間を通して考えた視点についての自分の考え方の変容がふり返られるよう工夫されている。</p> <p>・別冊は本冊巻末に収納できるよう, 本冊の背に厚みを取り, 見返しをつけて強度を高める工夫がされているので, 管理しやすい。</p> |